

12

10M TV

オピニオン

December
2016

プログラムガイド



一流有識者の知性を10分間であなたのものに。
大人の学び直しの新しいスタイル。

日本と世界、人と社会の
今を知る知的動画メディア

10M TV

オピニオン



10M TV アジア政治経済の過去と現在 (1)
アメリカ大統領選挙から読む



白石 隆

10M TV ほんものの坂本龍馬 (1)
現代の至んだ維新志士像



松浦 光修

おすすめレクチャー

特集

10M TV 東大寺建立に込められた思い (1)
千二百年有余の伝統



北河原 公敬

10M TV 世界史の中のローマ史 (1)
人類の文明史とローマ史



本村 凌二

新規講師のご紹介

新着レクチャー

10M TV 老いない骨のつくり方 (3)
骨の生理的老化と病的老化



鄭 雄一

10M TV 「天皇陛下のご職位と
ご公務の負担軽減」について考える



山内 昌之

人気ランキング

全ラインナップ

インフォメーション

● 10MTV編集部おすすめのレクチャーをピックアップしてご紹介します！

■ 国際 > 国際一般

トランプ現象と反グローバリズムの台頭の理由について いま最も旬な国際政治学者が緊急解説！



東南アジア地域研究で文化功労者にも選ばれた、いま最も旬な国際政治学者の一人である政策研究大学院大学（GRIPS）学長・白石隆氏がアメリカ大統領選挙におけるトランプ現象、ひいては反グローバリズムの台頭の理由について徹底解説します。

白石氏いわく、今回のアメリカ大統領選で一番興味深いのは、トランプ氏が共和党候補となるような、昨今の反グローバリズムの動きだそうです。そして、こうしたことが起こった理由に対する一つの見方として、欧米とアジアでの経済成長の違いを挙げています。

1995～2005年と2005～2015年という二つの時期に、国民1人当たりの実質所得の伸びを計算すると、前半10年で大きく伸びたのは欧米、反対に後半10年ではアジアが大きく伸びています。つまり、ここ10年間の欧米の経済成長率の鈍化に伴いグローバル化への反動が強まり、逆にアジアではグローバル化への期待が強まったと言えます。

そして、昨今の反グローバル化とは、「1995～2005年における成功の揺り戻しが今になって顕在化したもの」と白石氏は指摘し、「アメリカの次期政権も、経済が活性化するかどうか、運営に大きく影響する」と述べています。



なぜトランプ現象は起きたか？反グローバリズム台頭の理由
アジア政治経済の過去と現在（1）アメリカ大統領選挙から読む

2016/11/01



白石 隆

政策研究大学院大学
学長

■ 歴史・民族 > 日本史（幕末～明治）

皇統とやまと心を伝える日本思想史の研究者が メディアなどで歪められてしまった坂本龍馬の実像に迫る！

ドラマなどで頻りに描かれるあの坂本龍馬の姿が、いかに実像から離れたものであるかについて、皇学館大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が丁寧に解説を加えていきます。

坂本龍馬と言えば、司馬遼太郎の『龍馬がゆく』が有名であり、近年では大河ドラマ『龍馬伝』も人気を博し、現在の日本において数多の幕末の志士たちの中でもダントツで一番の人気者です。

しかし、小説やドラマはあくまでもフィクションに過ぎず、実際の龍馬の姿とは異なるものです。ちなみに、戦前の日本人なら、幕末の志士といえば、すぐに西郷隆盛や吉田松陰などを連想したのですが、彼らもまた、メディアなどでは、時としてひどいイメージ操作がなされることも少なくありません。

松浦氏いわく、実際の龍馬は、われわれが通常思っている以上に“凄み”のある人物だったようです。かつての日本人の考え方や過去の日本人に共通する「時代思想の基層」を知る学問である「日本思想史」の目を通じて、松浦氏が「ほんものの坂本龍馬」に迫ります！

※なお、本レクチャーの配信は、12月16日発刊予定の松浦氏の新著『龍馬の「八策」』（PHP研究所）との書籍連動企画となっています。



龍馬の「八策」
維新の核心を解き明かす
松浦光修著、PHP研究所



坂本龍馬の実像は没後150年ドラマなどで歪められてきた
ほんものの坂本龍馬（1）現代の歪んだ維新志士像

2016/11/25



松浦 光修

皇学館大学文学部国史学科
教授

修二会の最中に行われた有難い東大寺大仏造立のお話 千年の時を超えて伝え継がれる「聖武天皇の思い」とは？



東大寺では、大仏開眼の法要が行われた天平勝宝4年（752年）以来、「修二会」と呼ばれるお水取りの行法が一度も途絶えることなく行われ、今年で1265回を数えるといえます。お水取りの行法では二月堂の御本尊である十一面観世首菩薩の前で罪や汚れなどを懺悔するのですが、それとともに人々の幸せや五穀豊穡、国家の安泰、世界の平和もお祈りするということです。

しかし、修二会がこれほどの回数を数える間には、何度も存亡の危機を経験しているようで、例えば平安末期、平清盛の息子である平重衡によって奈良が灰燼に帰した時、行の存続の是非が話し合われ、いったんはやめることになったといえます。しかし、「せっかく先人が苦労して続けてきた行を、われわれの代で途絶えさせるわけにはいけない」ということで、必要なものをかき集めて続けられました。修二会は奈良時代、聖武天皇の詔によって始まったのですが、そこには天皇の並々ならぬ思いが込められていたから、今日まで続いたのではないのでしょうか。

シリーズでは、東大寺長老である北河原公敬氏が、東大寺大仏造立の歴史的背景、それを発願された聖武天皇の思い、そして天皇が目指した世界について解説されているのですが、収録時が修二会の最中ということもあり、非常に熱のこもったレクチャーになっています。千年以上の歴史の重みを感じる、とても有難いお話です。是非ご視聴ください。



東大寺には大仏開眼以来、1200年以上続く修二会の行法がある

東大寺建立に込められた思い (1) 千二百年有余の伝統

2016/11/26



北河原公敬

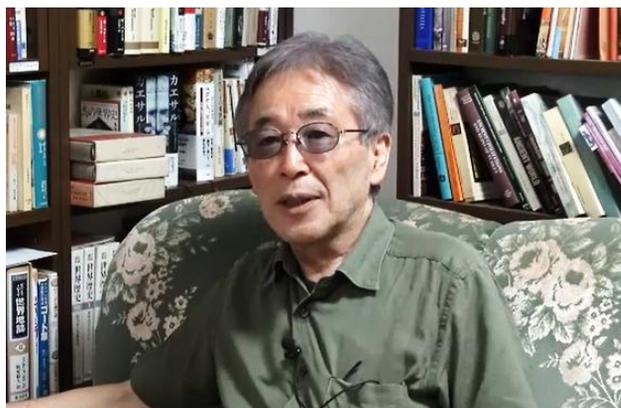
東大寺長老

「世界史の中のブランド品」である 古代ローマ 「人類の経験の全てが詰まっている」その歴史を読み解く！

古代ローマ史を専門とする早稲田大学国際教養学部特任教授・本村凌二氏のシリーズレクチャーがよいよ始まりました。このシリーズでは、古代ローマ史が世界史の中でどんな位置付けにあり、どんな意味を持つのか、そして古代ローマの歴史を学ぶことはどんな意義があるのか、そういった点について理解を深めることができます。

さて、古代ローマの歴史は2000年にも及ぶといわれていますが、本村氏によれば、「厳密な意味でのローマ史は、ローマの建国からいわゆる滅亡までの約1200年です。しかし、その後東ローマ帝国は現在のイスタンブールに首都を移して続いていきました。そこまでをローマ史と考えると、約2000年の時が流れています」ということです。西暦は2000年あまりですから、ローマ史だけでそれと同じくらいの歴史をもつということで、まさに壮大な歴史ロマンを感じます。

そんな古代ローマについて、政治学者の丸山眞男氏は「人類の経験の全てが詰まっている」と言い、作家の塩野七生氏は「世界史の中のブランド品だ」と言っています。そう聞くと、ローマ史を知らなければ、世界史を知ったことにはなりませんね。



古代ローマ史とは？丸山眞男と塩野七生が語る重要性

世界史の中のローマ史 (1) 人類の文明史とローマ史

2016/11/23



本村凌二

早稲田大学国際教養学部特任教授・
東京大学名誉教授

● まとめて視聴して大きな文脈を理解！ おすすめの特集をご紹介します！

「2017年、激動の「トランプ時代」へ！ ～衝撃のアメリカ大統領選挙と日本の進むべき道～」

<CONTENTS>

| | | |
|---|--|-------------|
|  | (仮) TPP問題とトランプ政策を読む トランプ政策はどこへ進むのか～TPPの行方～ 伊藤 元重 | 12月 配信予定 |
|  | (仮) 金利の行方はトランプ次第!? 金利はどこへ行く？長期停滞論とトランプ大統領誕生 植田 和男 | 12月 配信予定 |
|  | 「リムジン・リベラル」とクリントンが弾劾された理由とは トランプのアメリカと日本の課題 (1) トランプ・ショック 島田 晴雄 | |
|  | 「隠れトランプ」を把握しきれなかったアメリカ大統領選挙 大番狂わせの2016年アメリカ大統領選挙 – その要因と影響 曾根 泰教 | |
|  | トランプ・ショックで為替相場がドル高・円安に進んだ理由 トランプ時代の米ドル相場 (1) 米大統領選挙と為替相場 高島 修 | |
|  | トランプ新大統領誕生で日本も円安・株高波動へ! トランプ大統領誕生でどうなる？2017年の株式市場を大胆予測 菅下 清廣 | |
|  | なぜトランプ現象は起きたか？反グローバリズム台頭の理由 アジア政治経済の過去と現在 (1) アメリカ大統領選挙から読む 白石 隆 | |
|  | 歴史的に前例のない「トランプイズム」が全米を覆う! 「イスラムとアメリカ」再考 (6) トランプイズムの衝撃 山内 昌之 | |

ほか



2016年のアメリカ大統領選挙は世界を大きく変革させる契機となるかもしれません。それほど「トランプ勝利」は予想外であり、衝撃的であり、その影響は計り知れないものがあるのです。一体なぜトランプ氏は勝利し、ヒラリー氏は敗れたでしょう。真実を明らかにすることは日本にとっても大切なプロセスですが、日本が今すべきは、来たる「トランプ時代」に向けてどのように動いていくべきかを真剣に考えることです。TPPは？ 日米安保は？ 経済は？ 為替は？ いずれも見過ごすことのできない重要な問題です。トランプ氏が大統領に就任する2017年1月まで残り1か月強しかありません。12月配信予定の注目レクチャーも含めた今回の緊急特集をその貴重な機会にしてもらいたいですね。

最近の特集のご案内

10月特集

2016年アメリカ大統領選挙の不思議と真実
～トランプvsヒラリー～

特集

8月特集

特集 遠い記憶を呼び起こし、夏休みはのんびり読書タイム!

大人の課題図書10選
～2016年夏

9月特集

特集

治療から予防へ!
10年後の健康にコミットする。

これから心身ともに健康な生活を続けるために!?

7月特集

緊急特集

BREXIT～国際政治経済への影響

—世界を激震させた「イギリスのEU離脱問題」に迫る!

8月特集

特集 シングularity到来で私たちは一体どうなる?

ロボット・人工知能と共生する
近未来社会の姿

7月特集

国家間の衝突や宗派の対立、テロや新勢力の台頭
中東では一体何が起きているのか?

特集 山内昌之が語る
「中東複合危機」

● 11月は下記3名の有識者に新たにご登場いただきました。

古代ローマ社会史

「テルマエ・ロマエ」の世界ならこの人に訊け!



本村 凌二
 東京大学名誉教授
 早稲田大学国際教養学部教授

1947年熊本県生まれ。73年、一橋大学社会学部卒業、80年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京大学教養学部教授、同大学院総合文化研究科教授を経て、現職。専門は古代ローマ史。『薄闇のローマ世界』でサントリー学芸賞、『馬の世界史』でJRA賞馬事文化賞。

<配信中レクチャー>

- 世界史の中のローマ史 (1) 人類の文明史とローマ史
- 世界史の中のローマ史 (2) ローマ人は何が優れていたのか

仏教

蓮華のごとく生きる



北河原 公敬
 東大寺長老

1943年奈良県生まれ。68年、龍谷大学大学院国史学修士課程、修了。2000年、東大寺庶務執事、04年、同執事長。10年、華嚴宗大本山・東大寺第220世別当、同管長。13年、東大寺長老。著書『修二会の風景』(画集、木版画:浦田周社、文:北河原公敬、2011年3月、レベル)ほか。

<配信中レクチャー>

- 東大寺建立に込められた思い (1) 千二百年有余の伝統

日本思想史 / 神道学

皇統とやまと心を伝える
 日本思想史の研究者



松浦 光修
 皇學館大学
 文学部国史学科教授

1959年熊本県生まれ。皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程国史学専攻修了。博士(神道学)。専門分野は日本思想史。「美しい日本人の“心の歴史”」を研究。著書『【新釈】講孟余話 吉田松陰かく語りき』(PHP研究所・2015年)ほか。

<配信中レクチャー>

- ほんもの坂本龍馬 (1) 現代の吾んだ維新志士像
- ほんもの坂本龍馬 (2) 龍馬の「洗濯」の激しさ

● なお、12月以降、以下の方々にもご登場いただく予定です。ご期待ください!

バイオ・マテリアル / ナノ・テクノロジー

最先端研究で医療を革新!
 日本を代表するナノテク研究者



片岡 一則
 東京大学工学系研究科教授
 同 医学系研究科教授

● ナノテクノロジーで創る体内病院

12月 配信予定

コンピュータ・アーキテクチャ

「TRON」でおなじみ、IoTの
 コンセプトを世界で初めて提唱



坂村 健
 東京大学大学院
 情報学環教授

● IoTとは何か

12月 配信予定

国際金融経済 / 日本論

在日40年、日本を知り尽くした
 米国人大学教授の独自の日本論



R. Taggart Murphy
 筑波大学
 名誉教授

● 日本～呪縛の構図

2017年 配信予定

政治・外交

ご存知!
 元内閣総理大臣



小泉 純一郎
 第87・88・89代
 内閣総理大臣

● トモダチ作戦支援基金

2017年 配信予定

行政・地方自治体

文化的差異を認め合い、
 共に生きる社会を目指して



鈴木 康友
 浜松市長

● 浜松市の多文化共生プラン

2017年 配信予定

西洋哲学・倫理

イギリス経験論哲学から因果・
 人格など独自の哲学論を展開



一ノ瀬 正樹
 東京大学大学院人文科学系
 研究科哲学研究室教授

● 原因と結果の迷宮

2017年 配信予定

ジェンダー論

自由な男女のあり方を
 目指す!



瀬地 山角
 東京大学教養学部
 総合社会学科教授

● お笑いジェンダー論

2017年 配信予定

高齢化社会研究

高齢化社会研究の
 日本における第一人者



秋山 弘子
 東京大学高齢社会総合
 研究機構教授

● 高齢化社会におけるジェロントロジー

2017年 配信予定

銀河物理学・観測的宇宙論

マグナム望遠鏡やアカタマ天文台
 のプロジェクトを推進



吉井 譲
 東京大学大学院
 理学系研究科教授

● アカタマ天文台プロジェクト

2017年 配信予定

● 11月は計33話の配信を開始しました。

■ 国際 > 国際一般



なぜトランプ現象は起きたか？ 反グローバリズム台頭の理由

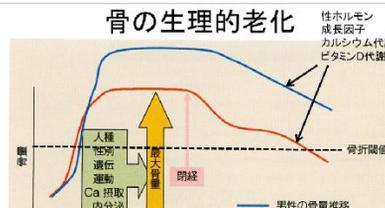
アジア政治経済の過去と現在 (1) アメリカ大統領選挙から読む

白石 隆 2016/11/01
政策研究大学院大学 学長

これからのアジア情勢を考える上で、今年のアメリカ大統領選挙は重要なトピックだ。白石隆氏はクリントン候補が優勢とした上で、なぜトランプ現象は起こったのか、どうしてアメリカで反グローバリズムが台頭したかに注目すべきだという。ポイントはここ20年間の欧米とアジアの経済成長の違いにある。(全6話中第1話)

■ 医療 > 腰痛・関節症・骨

骨の生理的老化



軟骨の最大リスクは過剰な メカニカルストレスがかかる肥満

老いない骨のつくり方 (3) 骨の生理的老化と病的老化

鄭 雄一 2016/11/03
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻教授

宇宙から帰って来た宇宙飛行士にリハビリが必要なのは、無重力空間で体重から解放された骨が「もう働かなくていい」と判断され、溶かされていくからだという。東京大学工学系研究科・医学系研究科教授の鄭雄一氏が伝える「老いない骨のつくり方」。第3回目のテーマは「骨の生理的老化と病的老化」だ。(全5話中第3話)

■ 国際 > アメリカ



「隠れトランプ」を把握しきれなかった アメリカ大統領選挙

大番狂わせの2016年アメリカ大統領選挙 - その要因と影響

曾根 泰教 2016/11/15
政治学者 / 慶應義塾大学大学院教授
(政策・メディア研究科)

「トランプ勝利」という結果について「隠れトランプ」が数多くいたことを掴みきれなかった点で、「大番狂わせ」といえるだろう。では大番狂わせを現実のものとした要因とは何か？ この結果が今後、世界にどんな影響を与えるのか？ 政治学者で慶應義塾大学大学院教授・曾根泰教氏がアメリカ大統領選挙を概観、解説する。

■ 科学技術 > ロボット・人工知能 ■ 環境・資源 > 水・海洋



市価2億円！網走沖合で イバラガニモドキの大群に遭遇！

「ツナサンド」の日本近海調査 (2) 北海道沖の水産資源

浦 環 2016/11/02
九州工業大学社会具現化ロボットセンター長・特別教授 / 東京大学名誉教授

■ ビジネス・経営 > ビジネス・経営一般 ■ 科学技術 > ロボット・人工知能 ■ 教育 > 教育一般



今後重視すべき教育は 人工能に代替されない能力の育成

ファミリービジネスとAI (7) これからの教育に向けて

柳川 範之 2016/11/04
東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授

■ 哲学・思想 > 仏教 ■ 歴史・民族 > 日本史(古代~中世) ■ 文化・芸術 > 日本文化



法隆寺釈迦像は聖徳太子がモデル、 生存中より造形開始

法隆寺は聖徳太子と共にあり (6) 「和」を広げる法隆寺

大野 玄妙 2016/11/05
法隆寺 管長

■ 教育 > グローバル人材



ISAKの生徒たちと切磋琢磨、 真のグローバル教育を目指す

「グローバル・ビジネス・ハイスクール」の挑戦

島田 晴雄 2016/11/06
慶應義塾大学名誉教授

■ 歴史・民族 > 東洋史 ■ 哲学・思想 > 東洋思想



房玄齡・杜如晦・魏徵・王珪 一太宗の四人の優れた側近

『貞観政要』を読む (2) 著作に登場する人物たち

田口 佳史 2016/11/07
老荘思想研究者

■ 国際 > 中東



クーデター失敗後、トルコは対外方針を 逆転させたのか

中東協力現地会議 (3) トルコの民主主義と外交

山内 昌之 2016/11/08
歴史学者
東京大学名誉教授

■ 科学技術 > ロボット・人工知能



自律型海中ロボットは海底調査に いかなる影響をもたらすか

自律型海中ロボットの効能

浦 環 2016/11/09
九州工業大学社会具現化ロボットセンター長・特別教授 / 東京大学名誉教授

■ 医療 > 腰痛・関節症・骨



骨トレのためなら 中程度の負荷のかかる運動がオススメ

老いない骨のつくり方 (4) 健康常識の誤り

鄭 雄一 2016/11/10
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻教授

■ 歴史・民族 > 日本史 (大正～現代)



「天皇の譲位」に関する議論には慎重さとスピード感が必要
「天皇陛下のご譲位とご公務の負担軽減」について考える

山内 昌之 2016/11/18
歴史学者
東京大学名誉教授

歴史学者・山内昌之氏は「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」の一員だが、「国民にまんべんなく理解を得られる提言はなかなか難しい」と語る。何がなぜどのように難しいのか。どのような論点があるのか。山内氏が天皇陛下のご譲位をめぐる問題について詳しく解説する。

■ 歴史・民族 > 西洋・中東史



古代ローマ史とは？
丸山眞男と塩野七生が語る重要性
世界史の中のローマ史 (1) 人類の文明史とローマ史

本村 凌二 2016/11/23
東京大学名誉教授
早稲田大学国際教養学部特任教授

古代ローマ帝国の歴史が2000年に及ぶことをご存じだろうか？ 2000年といえは西暦の全期間にほぼ匹敵する。それだけの長期にわたったローマ史は「人類史の経験のほとんどがある」とさえ言われ、古代ローマを知ることが現代を考える大きな羅針盤となる。本村凌二氏がその歴史と背景を解説する。(全3話中第1話)

■ 国際 > アメリカ



「リムジン・リベラル」とクリントンが揶揄された理由とは
トランプのアメリカと日本の課題 (1) トランプ・ショック

島田 晴雄 2016/11/23
慶應義塾大学名誉教授

史上まれに見る番狂わせとなった2016年のアメリカ大統領選挙。今後日本はどうしていくべきなのか。慶應義塾大学名誉教授・島田晴雄氏が緊急解説する。まずは選挙の分析だ。なぜ高い政治能力を持つクリントン氏が嫌われたのか。理由の一つは、彼女の政治姿勢がいつの間にか民意と乖離したことにあった。(全4話中第1話)

■ ビジネス・経営 > 起業家精神・経営哲学 ■ 教育 > グローバル人材



人工知能時代の教育論と40歳定年制の論点との共通点
ファミリービジネスとAI (8) 質疑応答

柳川 範之 2016/11/11
東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授

■ 哲学・思想 > 仏教 ■ 歴史・民族 > 日本史 (古代～中世) ■ 文化・芸術 > 日本文化



フェノロサと岡倉天心による夢殿開扉は実はなつ造？
法隆寺は聖徳太子と共にあり (7) 日本古代史の謎に迫る

大野 玄妙 2016/11/12
法隆寺 管長

■ 国際 > アジア・オセアニア ■ 教育 > 教育一般



新科目「歴史総合」は2022年から！近現代史の重要性を説く
アジア政治経済の過去と現在 (2) 歴史総合とリーダーシップ

白石 隆 2016/11/13
政策研究大学院大学 学長

■ 医療 > 腰痛・関節症・骨



骨と軟骨を強くするためにカルシウム吸収の良い食事を！
若い骨のつくり方 (5) 骨を強くするためにできること

鄭 雄一 2016/11/14
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻教授

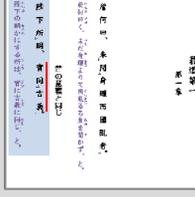
■ 科学技術 > ロボット・人工知能



アイルランド沖で有人潜水艇を救出したROV・CURVⅢ
遠隔操縦機～重作業ROV (1) 基本設計と開発経緯

浦 環 2016/11/16
九州工業大学社会具現化ロボットセンター長・特別教授 / 東京大学名誉教授

■ 歴史・民族 > 東洋史 ■ 哲学・思想 > 東洋思想



諫義大夫・魏徴が古典に語らせて君主を諫める
『貞観政要』を読む (3) 長期政権の運営を邪魔する要因

田口 佳史 2016/11/17
老荘思想研究者

■ 哲学・思想 > 仏教 ■ 歴史・民族 > 日本史 (古代～中世) ■ 文化・芸術 > 日本文化



「日没する処の天子」と書かれても煬帝が激怒しない理由
法隆寺は聖徳太子と共にあり (8) 古代史の眺め方

大野 玄妙 2016/11/19
法隆寺 管長

■ 国際 > 中国・韓国



中国は2017年が転機!? ニューノーマルを唱える習政権に注目
アジア政治経済の過去と現在 (3) 中国の動向と注目ポイント

白石 隆 2016/11/20
政策研究大学院大学 学長

■ 歴史・民族 > 東洋史 ■ 哲学・思想 > 東洋思想



明君と暗君の違いは、「兼聴」と「偏信」
『貞観政要』を読む (4) 明君の条件

田口 佳史 2016/11/21
老荘思想研究者

■ 国際 > 中東



悲惨極まるアレッポ、アサドこそ激化するシリア問題の火種
シリア・アレッポ情勢と三つの「限りなく嘘に近い神話」

山内 昌之 2016/11/22
歴史学者
東京大学名誉教授

■ 歴史・民族 > 日本史 (幕末～明治)



坂本龍馬の実像は没後150年
ドラマなどで歪められてきた

ほんものの坂本龍馬 (1) 現代の歪んだ維新志士像



松浦 光修

皇学館大学
文学部国史学科教授

2016/11/25

現代日本で坂本龍馬は大人気である。しかし、私たちが
見ている龍馬は、彼の本当の姿なのか。それは、実像と
はかけ離れた“ソックリさん”なのではないか。日本思
想史を専攻し、江戸時代への「留学」経験もある皇学館
大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が、現代の龍馬像
を「洗濯」する。(全10話中第1話)

■ 金融・経済 > 外国為替相場 ■ 国際 > アメリカ

本国投資法(HIA)

現在3兆ドル近い利益が海外に留保されている。2千億ドル程度のドル買い需要発生か?!



トランプ・ショックで為替相場が
ドル高・円安に進んだ理由

トランプ時代の米ドル相場 (1) 米大統領選挙と為替相場



高島 修

シティグループ証券
チーフFXストラテジスト

2016/11/25

米大統領選挙は共和党・トランプ候補の勝利となり、為
替相場ではドル高・円安が進んでいる。事前予想は「ク
リントンで円高、トランプでドル安」のはずだったが、
高島修氏はもっと多くのシナリオを描いていた。その内
容を、「トランプ大統領」が持つ世界的・歴史的な意味
とともに解説する。(全3話中第1話)

■ 哲学・思想 > 仏教 ■ 歴史・民族 > 日本史 (古代～中世)
■ 文化・芸術 > 日本文化



東大寺には大仏開眼以来、
1200年以上続く修二会の行法がある

東大寺建立に込められた思い (1) 千二百年有余の伝統



北河原 公敬

東大寺 長老

2016/11/26

東大寺長老である北河原公敬氏が、大仏造立の歴史的背
景、そして発願した聖武天皇の「思い」を語る。東大寺
では創建以来、修二会の行法が途切れることなく続けら
れてきた。今年で1265回目を数える修二会で祈るのは、
生きるものの幸福だ。ここに聖武天皇が大仏の造立へと
至った経緯が深く関係している。(全7話中第1話)

■ 金融・経済 > 投資



トランプ新大統領誕生で
日本も円安・株高波動へ!

トランプ大統領誕生でどうなる? 2017年の株式市場を大胆予測



菅下 清廣

スガシタパートナーズ代表取締役社長
国際金融コンサルタント

2016/11/24

現代日本で坂本龍馬は大人気である。しかし、私たちが
見ている龍馬は、彼の本当の姿なのか。それは、実像と
はかけ離れた“ソックリさん”なのではないか。日本思
想史を専攻し、江戸時代への「留学」経験もある皇学館
大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が、現代の龍馬像
を「洗濯」する。(全10話中第1話)

■ 国際 > アジア・オセアニア



ドゥテルテ大統領は果たして
「フィリピンのトランプ」か

アジア政治経済の過去と現在 (4) ドゥテルテ大統領とは何か



白石 隆

政策研究大学院大学
学長

2016/11/27

現代日本で坂本龍馬は大人気である。しかし、私たちが
見ている龍馬は、彼の本当の姿なのか。それは、実像と
はかけ離れた“ソックリさん”なのではないか。日本思
想史を専攻し、江戸時代への「留学」経験もある皇学館
大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が、現代の龍馬像
を「洗濯」する。(全10話中第1話)

■ 科学技術 > ロボット・人工知能



落下したH-IIロケットの
エンジン捜索を行ったROV

遠隔操縦機~重作業ROV (2) 世界各地での活用事例

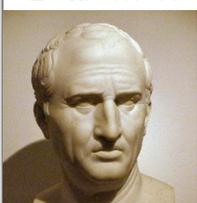


浦 環

九州工業大学社会員現化ロボットセンター長・
特別教授/東京大学名誉教授

2016/11/28

■ 歴史・民族 > 西洋・中東史



ローマ人の宗教的な敬虔さは
どこの民にも負けないーキケロ

世界史の中のローマ史 (2) ローマ人は何が優れていたのか



本村 凌二

東京大学名誉教授
早稲田大学国際教養学部特任教授

2016/11/30

現代日本で坂本龍馬は大人気である。しかし、私たちが
見ている龍馬は、彼の本当の姿なのか。それは、実像と
はかけ離れた“ソックリさん”なのではないか。日本思
想史を専攻し、江戸時代への「留学」経験もある皇学館
大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が、現代の龍馬像
を「洗濯」する。(全10話中第1話)

■ 国際 > アメリカ



トランプの経済政策は、
アメリカ国民にとって自滅行為だ

トランプのアメリカと日本の課題 (2) トランプの政策解剖



島田 晴雄

慶應義塾大学名誉教授

2016/11/30

現代日本で坂本龍馬は大人気である。しかし、私たちが
見ている龍馬は、彼の本当の姿なのか。それは、実像と
はかけ離れた“ソックリさん”なのではないか。日本思
想史を専攻し、江戸時代への「留学」経験もある皇学館
大学文学部国史学科教授・松浦光修氏が、現代の龍馬像
を「洗濯」する。(全10話中第1話)

● 11月に最も多く視聴され、人気が高かったレクチャーは以下の通りです。

■ 国際 > 国際一般



1位

**なぜトランプ現象は起きたか？
反グローバリズム台頭の理由**

アジア政治経済の過去と現在
(1) アメリカ大統領選挙から読む

 **白石 隆** 2016/11/01
政策研究大学院大学 学長

これからのアジア情勢を考える上で、2016年の米国大統領選挙は重要なトピックだ。白石隆氏は、なぜトランプ現象は起こったのか、どうしてアメリカで反グローバリズムが台頭したかに注目すべきだという。そのポイントは、ここ20年間の、欧米とアジアの経済成長の違いにある。(全7話中第1話)

■ 国際 > アメリカ



2位

「隠れトランプ」を把握しきれなかったアメリカ大統領選挙

大番狂わせの2016年アメリカ大統領選挙 - その要因と影響

 **曾根 泰教** 2016/11/15
政治学者 / 慶應義塾大学大学院教授 (政策・メディア研究科)

「トランプ勝利」は、「隠れトランプ」が数多くいたことを掴みきれなかった点で、「大番狂わせ」といえる。ではその大番狂わせを現実のものとした要因とは何か？そしてこの結果が今後、世界にどんな影響を与えるのか？政治学者で慶應義塾大学大学院教授・曾根泰教氏が2016年アメリカ大統領選挙を概観、解説する。

■ 医療 > 腰痛・関節症・骨



3位

**健康寿命に大きく影響する
骨粗鬆症・歯周病・変形性関節症**

老いない骨のつくり方 (1) 高齢化と骨の病気

 **鄭 雄一** 2016/10/20
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻教授

鄭雄一氏による「老いない骨のつくり方」シリーズ講話。鄭氏はレクチャー冒頭で、「情報に溺れず正しい情報を選択する能力がいかに大切か」と語り、誤った情報は「人生の栄華失調」につながりかねない、と情報過多時代に警鐘を鳴らした。第1回目では骨の病気に関する正しい知識を得る。(全5話中第1話)

■ 教育 > 教育一般 ■ ビジネス・経営 > ビジネス・経営一般 ■ 科学技術 > ロボット・人工知能

4位

**今後重視すべき教育は人工知能に代替
されない能力の育成**

ファミリービジネスとAI (7) これからの教育に向けて

 **柳川 範之** 2016/11/04
東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授

■ 哲学・思想 > 仏教 ■ 歴史・民族 > 日本史 (古代~中世) ■ 文化・芸術 > 日本文化

5位

**中国由来の「和」の精神を
聖徳太子はどうアレンジしたか**

法隆寺は聖徳太子と共にあり (1) 無条件の「和」の精神

 **大野 玄妙** 2016/10/01
法隆寺 管長

■ 歴史・民族 > 日本史 (大正~現代)

6位

**「天皇の譲位」に関する議論には
慎重さとスピード感が必要**

「天皇陛下のご譲位とご公務の負担軽減」について考える

 **山内 昌之** 2016/11/18
歴史学者
東京大学名誉教授

■ 社会・福祉 > 社会・福祉一般 ■ 哲学・思想 > 哲学・思想一般

7位

**これからの時代をつくるのは、
間違いなく「楽観主義」な人**

楽観は強い意志であり、悲観は人間の本性である

 **小宮山 宏** 2015/01/01
三菱総合研究所理事長
/ 東京大学第28代総長

■ 歴史・民族 > 東洋史 ■ 哲学・思想 > 東洋思想

8位

**北条政子も愛読した
長期政権のバイブル『貞観政要』**

『貞観政要』を読む (1) 長期政権を目指す者の必読書

 **田口 佳史** 2016/10/31
老荘思想研究者

■ 教育 > グローバル人材

9位

**ISAKの生徒たちと切磋琢磨、
真のグローバル教育を目指す**

「グローバル・ビジネス・ハイスクール」の挑戦

 **島田 晴雄** 2016/11/06
慶應義塾大学名誉教授

■ 科学技術 > ロボット・人工知能 ■ 環境・資源 > 水・海洋

10位

**市価2億円！網走沖合でイバラガニモド
キの大群に遭遇！**

「ツナサンド」の日本近海調査 (2) 北海道沖の水産資源

 **浦 環** 2016/11/02
九州工業大学社会具現化ロボットセンター長・特別教授・東京大学名誉教授

● 12の大ジャンル、100超の小ジャンルから多岐にわたる分野のレクチャーをお楽しみいただけます。

政治

- 政治制度・政治体系
- 政治思想
- 政権・政党
- 政策
- 行政
- 政治家
- 外交
- 歴史認識問題
- 安全保障・テロ
- 発想法とビジョン

金融・経済

- グローバル金融経済
- 経済思想
- 外国為替相場
- 円相場
- 通商・経済協力
- 経済政策
- 経済成長と飽和・格差
- 財政政策
- 投資

国際

- アメリカ
- 中国・韓国
- アジア・オセアニア
- ヨーロッパ・ロシア
- 中東
- 北米・中南米
- 国際一般

ビジネス・経営

- 起業家精神・経営哲学
- 企業再生
- 企業戦略
- グローバル化
- イノベーション
- 産業
- ビジネス・経営一般

社会・福祉

- 人口
- 雇用・労働
- 社会保障
- 都市・地方・インフラ
- 障害者支援
- 倫理・人権
- 食料
- 災害
- 報道・メディア
- 社会・福祉一般

教育

- 道徳・規範・志
- リーダー教育
- グローバル人材
- 教育改革
- 読書
- キャリア・自分史
- 教育一般

医療

- がん
- ホルモン
- うつ・気分障害
- かゆみ・アトピー
- 腰痛・関節症・骨
- 医療一般

環境・資源

- 電源構成・エネルギー効率
- 再生可能エネルギー
- 資源・リサイクル
- 環境破壊・生態系
- 地球温暖化・気象
- 地盤・土壌
- 水・海洋
- 環境・資源一般

科学技術

- ロボット・人工知能
- 情報革命
- サイバーセキュリティ
- 超電導リニア・新幹線
- 省エネ
- 発酵
- 生物の進化
- 科学技術一般

文化・芸術

- 文学・エッセイ
- スポーツ
- 日本文化
- 異文化理解

歴史・民族

- 日本史 (古代～中世)
- 日本史 (近世)
- 日本史 (幕末～明治)
- 日本史 (大正～現代)
- 東洋史
- 西洋・中東史
- 歴史・民族一般

哲学・思想

- 仏教
- キリスト教
- イスラム教
- 東洋思想
- 近現代の哲学・思想
- 哲学・思想一般

政治／国際

政治システム・政策

全84話



曾根 泰教

政治学者／慶應義塾大学大学院教授 (政策・メディア研究科)

政治システム

- 政界再編の異なる考え方
- 政党をどう見るか：日米の違い
- 「保守主義」の分類とその尺度について
- 政権交代時代のリーダー
- 政権交代とねじれ国会
- 野党とは何か
- 中央銀行の役割
- 自民党「一強多弱」は何が問題か
- 小選挙区制度の是非
- 集団的自衛権論議の盲点～アメリカが「リスク要因」となる可能性
- 「消費税増税先送り」解散の意味を問う
- 選挙結果の読み方
- 総選挙の結果を総括する (1) 現政権維持維持も波乱含み
- 総選挙の結果を総括する (2) 前政権の政権運営に対する怒り
- 総選挙の結果を総括する (3) 消えた2千万票の意味
- 岡田民主始動～政権奪取への課題～
- 2015統一地方選中間総括
- ヒラリー・クリントン氏出馬表明～2016米大統領選
- 大阪都構想
- 2015年イギリス総選挙の結果
- 政治とカネの問題
- ギリシャ問題を解き明かす～EUの問題点と日本への教訓～
- 野党再編 (1) 再編とは何か
- 野党再編 (2) 対立軸と選択
- 内閣改組とは何か～安倍政権の内閣改組を分析・評価する～
- 安保法制はなぜ起こったのか
- マグナ・カルタから考える「法の支配」と議院内閣制
- 戦後レジームとは何か (1) いまだ存続するIMF
- 戦後レジームとは何か (2) 結党60年・自民党の経済政策
- 戦後レジームとは何か (3) リベラルの戦後史からの考察
- 2016アメリカ大統領選の行方～予備選挙とトランプ現象
- 選挙制度改革～問われる政党の覚悟
- 衆参同日選挙の可能性と争点
- 「衆参同日選挙」と「消費税増税延期」問題
- アメリカの凋落と大統領選の制度的欠陥
- 「イギリスのEU離脱問題」を考える
- 2016参院選で問われるもの
- 総括・2016参院選～「改選勢力3分の2」の意味を問う
- 予想を裏切った2016年米大統領選～その実態とリスク
- 大番狂わせの2016年米大統領選挙～その要因と影響New!

政策・政策評価

- 量的緩和と日本経済の体質改善は果たせたか？

発想法とビジョン

- 日本のビジョンの二つの考え方
- 二つのビジョンの観点：少数のトップと社会全体の違い
- インターネットのもつ大きな力：われわれは、Good Questionをつくり、Good Answerを引き出したい
- セブンマインドスプラン ～平均寿命と健康寿命の差～
- 身近なノーヘル賞
- 戦略的国際広報のすすめ
- 特区は長崎出島か
- 「おもてなし」のビジネスモデル
- 駅前大学の限界
- あなたは「お米」を食べていますか？
- カントリークラブの発想
- 日本のジャーナリズムを建て直すために～朝日新聞の慰安婦問題を斬る～
- グローバルとローカル～それぞれの論点の違い～
- イノベーションと経済成長
- 日本人の不得意科目～ユーゴスラヴィアの教訓から読む
- 大学改革はサプライ・サイドの見直しから
- 日本の右傾化・保守化について考える
- 知識の3類型
- 正しさの根拠
- 夢のビジネススクール
- マスコミと政治の距離～マスコミの使命と課題を考える
- 「改革」を望まない人間の心理
- 思考するとき相手の立場をのぞくくらい考えるか
- あなたの顔は何ですか？
- 「デザイン思考」を活かすには
- ケネディ演説の起源
- 寄付の文化を育てるには
- 東京はワンダーランドだ
- モノづくりは、モノをつくることか
- 評価をめぐる三つの問題

インド太平洋の政治・経済

全20話



白石 隆

政策研究大学院大学 学長

- 政策研究大学院大学とは (1) 世界中の中間官僚が政策を磨く
- 政策研究大学院大学とは (2) 真の「エリートスクール」を目指す
- アメリカ型キャリア・パターンで大学を変革する
- インド太平洋の基本的構造 (1) 周辺国の民主化と中国の将来
- インド太平洋の基本的構造 (2) 米国の対外政策が漂流する理由

日米関係・日米同盟

全16話



Gerald Curtis

政治学者
コロンビア大学名誉教授

- いまアメリカが日本に問う (1) 靖国参拝と歴史・外交認識
- いまアメリカが日本に問う (2) 誤解を招きかねない首相の表現・言葉
- いまアメリカが日本に問う (3) 安倍政権1年目の評価と今後の課題
- いまアメリカが日本に問う (4) 日本が歩むべき道
- 日本の外交を理解するための三つの質問 (1) 「安倍ファクター」はどれほど重要か
- 日本の外交を理解するための三つの質問 (2) 日米同盟を維持するための課題は何か
- 日本の外交を理解するための三つの質問 (3) 中国は日米同盟をどう見ているか
- 日中首脳会談の大きな意味
- 日米同盟を強化し、中国と戦略的対話を～アジア太平洋の10年先を見据えて～
- 衆院解散総選挙の理由と安倍首相にとってのリスク
- 55年体制と2012年体制 (1) 質的な違いと野党がなすべきこと
- 55年体制と2012年体制 (2) 安倍自民党がいま選挙をする理由
- 55年体制と2012年体制 (3) 戦争経験と右翼思想
- 中国事情・届前線～北京での「トラック2外交」から
- 衆院解散の安倍政権を讀む～「14年体制」誕生の可能性と課題
- (1) 首相が目指しているのは「憲法改正」
- 衆院解散の安倍政権を讀む～「14年体制」誕生の可能性と課題 (2) 一党体制「55年体制」との大きな差異

外交・国際・安全保障

全18話



岡崎 久彦

外交評論家

- 安倍総理の保守主義と指導力
- 政治家としての才覚～安倍晋三と歴代の政治家たち～

- 靖国問題の歴史的経過を振り返る (1) 1世代で戦争の記憶は消える
- 靖国問題の歴史的経過を振り返る (2) 火を付けたのは日本
- 米国とイランの秘密交渉が与える影響力
- 安倍政権は「従軍慰安婦問題」をどう扱うべきか
- クリミア問題を語る～ロシアへの対応と米欧の思惑～
- 「逆オイルショック」とソ連崩壊
- 日本は右傾化しているのか
- オバマ大統領訪日の成果を問う (1) 「成功」の三つの見どころ
- オバマ大統領訪日の成果を問う (2) 世界的影響力の低下とリベラルの横顔
- 集団的自衛権から憲法改正へ～今後の安倍政権のロードマップ～
- 極東の(バランス・オブ・パワー)は中国VS日米同盟～高まる中国軍事力の脅威～
- 舌節35年、集団的自衛権閣議決定 日本の安保体制確立へ
- 混迷するイラクと対応策が分からないアメリカ
- 対中国問題は政経分離で考えよ
- 習近平の野望～中国の権力闘争
- 今後1年の世界動向と日本外交を予測する

日中・日韓関係 全29話

若宮 啓文

日本国際交流センター
シニアフェロー (元朝日新聞主筆)

- 「村山談話」とは何だったのか (1) 二つの大きな意義
- 「村山談話」とは何だったのか (2) 談話に至った経緯と「安倍談話」の行方
- なぜ「ドイツの謝罪」のようにいかなかったのか (1) 世界に印象づけられたドイツの二つの謝罪
- なぜ「ドイツの謝罪」のようにいかなかったのか (2) 日本とドイツの状況の根本的な相違
- 靖国神社の参拝がなぜ問題になるのか (1) 安倍首相の靖国参拝と国際的波紋
- 靖国神社の参拝がなぜ問題になるのか (2) 「私的」にこだわった小泉首相の参拝
- 靖国神社の参拝がなぜ問題になるのか (3) 中曽根首相の公式参拝とその中止
- 靖国神社の参拝がなぜ問題になるのか (4) 小泉首相の参拝と、解決への道
- 安倍首相と祖父・岸信介氏のDNA (1) 対照的な安倍首相の二人の祖父
- 安倍首相と祖父・岸信介氏のDNA (2) 岸氏の影を追う安倍首相
- 安倍首相と祖父・岸信介氏のDNA (3) 岸氏に学ぶべきこと
- 日韓関係の悩ましき (1) いま噴き出す日韓基本条約の問題点
- 日韓関係の悩ましき (2) 90年代の和解に行きつくまで
- 日韓関係の悩ましき (3) 関係硬直の背景と日韓条約50年に向けた進展の兆し
- 「日中」をめぐる保守の内部対立 (1) 二つの中国の間で揺れた国交正常化
- 「日中」をめぐる保守の内部対立 (2) 台湾派の論理と尖閣「棚上げ」問題
- 「日中」をめぐる保守の内部対立 (3) 今に至る二つの系譜と関係改善への期待
- オバマ大統領の日韓訪日の成果～日韓を取り持つアメリカの歴史的使命～
- 尖閣諸島の周辺で「日中共同開発」の真相 (1) 田中角栄と周恩来の胸の内
- 尖閣諸島の周辺で「日中共同開発」の真相 (2) 中国漁船騒動と自民党内の大論争
- 秘話を通して考える日韓関係 (1) 安重根の評価と岸信介の親書
- 秘話を通して考える日韓関係 (2) 竹島をめぐる「爆破発言」と「密約」
- どうなる? 戦後70年「安倍談話」 (1) 村山談話をどこまで踏襲するのか
- どうなる? 戦後70年「安倍談話」 (2) 「侵略」にこだわりの背景
- どうなる? 戦後70年「安倍談話」 (3) 豪州演説にみる方向性
- どうなる? 戦後70年「安倍談話」 (4) 村山談話をコソットした安倍内閣
- どうなる? 戦後70年「安倍談話」 (5) 日中相互協力に向けて
- 日韓条約50年 (1) 軍政下の締結と民主化後の好関係
- 日韓条約50年 (2) 関係修復に向けた真のリーダー像

国政 全20話

野田 佳彦

第95代内閣総理大臣
衆議院議員

- 政権を担うということとはどういうことか
- 社会保障と税の一体改革のために民主党を敵に回した なぜそれができたのか
- 政治の世界に入って影響を受けた人や目標としようと思った人は
- 外交で各国のトップと会談してきた際のエピソード、印象に残った人は
- 天皇制、露ヶ関文化、日米同盟の3つを軸として守ろうと考えたのはいつ頃からか
- 中選挙区制と小選挙区制の違いはなにか 小選挙区は文化が違うものを日本に植えつけたのではないのか
- なぜ政治家を志したのか
- 日米同盟の重要性をどう考える
- 露ヶ関と力を合わせて～本場の政治主導と政権運営で大切なこと～
- 野田政治の原点となった果敢な時代について聞かせてください
- 「福田保守」とは ～大平正芳先生に学ぶ～
- 池田正太郎や山本周五郎、藤沢周平になぜ影響を受けたのか
- 松下幸之助との出会いはどんな影響を与えたか
- 政治家としての信念と財産
- 社会保障と税の一体改革 (1) 時代の変化と法案作成理由
- 社会保障と税の一体改革 (2) 2段階目の消費税引き上げと格差問題
- 社会保障と税の一体改革 (3) 質疑応答
- 野田前総理が語る今回の選挙と安倍政権 (1) 大義なき解散とポピュリズム
- 野田前総理が語る今回の選挙と安倍政権 (2) 国益よりも延命の内閣
- 野田前総理が語る今回の選挙と安倍政権 (3) アベノミクスの危険性と民主党の変化

政治全般 全9話

星 浩

TBSテレビ
「News23」キャスター

- 日本政治の俗説に反論する (1) 小選挙区は悪い制度なのか
- 日本政治の俗説に反論する (2) 対立軸はできないのか
- 日本政治の俗説に反論する (3) 外交の全体像を描く時
- 政治記者の考える政策課題 (1) 財政
- 政治記者の考える政策課題 (2) 社会保障
- 今回の選挙の経緯と争点であるアベノミクスについて
- 選挙戦の構図、選挙戦が意味するもの
- 今回の選挙を振り返る
- 今後の政治がどうなるか～安倍政権のゆくえ～

教育制度・システム 全8話

下村 博文

元文部科学大臣
衆議院議員

- 若者に志を持たせるために
- 道徳教育の要 - 「志を持つ」ということ
- 人生の転機で学んだこと (1) 幸せは努力の量に比例する
- 人生の転機で学んだこと (2) 「再生」への目覚めから、日本独自の「人間学」発信へ
- 文科省の意識改革 (1) 「トビタテ! 留学JAPAN」プロジェクト
- 文科省の意識改革 (2) 『2020夢ビジョンJAPAN』と21世紀に必要な能力
- 大学改革実行プラン (1) 大学入試改革～21世紀の学校教育で求められている三つの能力～
- 大学改革実行プラン (2) 大学ガバナンス改革～世界で通用する大学を目指すために～

安全保障 全5話

小野寺 五典

元防衛大臣
衆議院議員

- 日本の安全保障～アジアの安定・成長を保つ「抑止力」～
- 政治家としての原点、そして挫折と再生
- 東日本大震災を振り返る～地元・気仙沼への想い～
- 人生の挫折と再生を経て (1) 人脈という宝
- 人生の挫折と再生を経て (2) 私を支えた言葉

中国/日中関係 全4話

丹羽 宇一郎

元中華人民共和国
駐劔特命全權大使

- 「中国の大問題」について (1) 数字で読み解く中国経済の実情
- 「中国の大問題」について (2) 社会主義市場経済の限界と可能性
- 「中国の大問題」について (3) 第2次習近平体制に向けて
- 「中国の大問題」について (4) 中国を統治する方法

安全保障 全21話

吉田 正紀

元海上自衛隊
佐世保地方総監

- わが国の安全保障の構造 (1) その源流から下流まで
- わが国の安全保障の構造 (2) 垂直、水平、二方向の展開
- 安全保障最前線 (1) 戦術の視点で見るとソマリア沖海賊対処活動
- 安全保障最前線 (2) 北朝鮮問題を考える
- 安全保障最前線 (3) 中国の活発な海洋進出への対応 (前編)
- 安全保障最前線 (4) 中国の活発な海洋進出への対応 (後編)
- わが国の安全保障をどう考える～海上自衛隊の現状と今後～
- わが国の防衛法制の変遷 (1) 冷戦期における安保体制
- わが国の防衛法制の変遷 (2) 冷戦後の不安定な平和の時代
- わが国の防衛法制の変遷 (3) 北朝鮮危機から9.11へ
- わが国の防衛法制の変遷 (4) 特別措置法と自衛隊の活動
- 安全保障のチャイナリスク対応 (1) 米中ハワードの相克
- 安全保障のチャイナリスク対応 (2) 尖閣をめぐる緊張
- 安全保障のチャイナリスク対応 (3) 海洋進出の狙い
- 安全保障のチャイナリスク対応 (4) 日本が生き残る道
- 安全保障のチャイナリスク対応 (5) 質疑応答
- ワシントン発、安全保障の未来像 (1) ロシア脅威論
- ワシントン発、安全保障の未来像 (2) 中東政変を分析
- ワシントン発、安全保障の未来像 (3) 東アジア情勢
- ワシントン発、安全保障の未来像 (4) 米国の安全保障戦略
- ワシントン発、安全保障の未来像 (5) 戦争と平和の間の道

安全保障 全7話

山下 万喜

海上自衛隊
佐世保地方総監

- 戦史に見る意思決定プロセス (1) 日本海海戦・東郷平八郎
- 戦史に見る意思決定プロセス (2) 真珠湾攻撃・山本五十六
- 戦史に見る意思決定プロセス (3) ミッドウェー海戦・南雲忠一
- 戦史に見る意思決定プロセス (4) レイテ沖海戦・栗田健男
- 意思決定プロセスに見る日米比較
- 海上自衛隊の人材育成と米海軍との連携がもたらすもの
- 昨今の軍事情勢と意思決定プロセスの重要性

中国/日中関係 全20話

石川 好

作家

- なぜ「中国は一つの日中関係」なのか
- なぜ「中国には巨大な政治権力が必要なのか」
- なぜ「胡適が中国外交の基本になったのか」
- なぜ「中国共産党は支配できるのか」
- なぜ「中国は「歴史認識」にこだわるのか」 (1)
- なぜ「中国は「歴史認識」にこだわるのか」 (2)
- なぜ「日中関係はうまくいかないのか」
- 文化的側面からの日中の入り
- 中国にとって国権問題とは何か
- 中国の歴史的習性である二重構造
- 「ワン・ヒール、ワン・ネーション」をめざす中国
- アメリカの建国の理念と中華思想の類似性
- 今の時代は「日清戦争前夜」
- 「2015年問題」を考える
- 百年河清を俟つ～中国流の物事の解決方法～
- 「逆さ地図」に見る日中関係の宿命の間隙
- 中国の歴史認識・歴史の記憶と日中関係 (1) 中国共産党のレジディマシー
- 中国の歴史認識・歴史の記憶と日中関係 (2) 石橋湛山の思想
- 中国の歴史認識・歴史の記憶と日中関係 (3) 繰り返り起こる反日運動の背景
- 中国の歴史認識・歴史の記憶と日中関係 (4) 終戦70年、日本の進むべき道

保守政治 全14話

佐高 信

評論家

- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (1) -1 保利茂
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (1) -2 保利茂
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (2) 松村謙三
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (3) 石橋湛山
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (4) 田中角栄
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (5) 大平正芳・宮澤喜一
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (6) -1 城山三郎
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (6) -2 城山三郎
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (7) 萩村伊智朗
- 失われている「保守の知恵」～友好の弁を振った人たち (8) 松嶋千三代
- 『未完の敗者 田中角栄』を語る (1) 今、なぜ田中角栄なのか
- 『未完の敗者 田中角栄』を語る (2) 田中に老妻あり
- 『未完の敗者 田中角栄』を語る (3) 二つのアレキス腿と秘書との関係
- 著者・佐高信が語る『自民党と創価学会』

中国政治・経済 全15話

瀬口 清之

キャンブローバル戦略研究所
研究主幹

- 中国経済は安定保持 (1) 2012年から安定の時代へ
- 中国経済は安定保持 (2) 消費主導と雇用増大
- 中国経済は安定保持 (3) 物価が語る市場経済安定化
- ゴーストタウン現象の真相 (1) 不動産市場は安定回復
- ゴーストタウン現象の真相 (2) 日本も同じ問題を経験
- 中国高度成長は2020年まで (1) 都市化の減速
- 中国高度成長は2020年まで (2) インフラ建設減速
- 習政権の課題とリスク (1) 経済構造の転換
- 習政権の課題とリスク (2) 安定成長移行後のリスク
- 日本企業の黄金時代到来 (1) リスクの前にチャレンジャー
- 日本企業の黄金時代到来 (2) 中国で勝つことで世界を勝利
- 中国ビジネス成功のカギ (1) 政経熱から政経経温へ
- 中国ビジネス成功のカギ (2) 社長の決断力
- 日中協同発展のために (1) 4つの前提条件とは
- 日中協同発展のために (2) 歴史教育と道徳教育

国際協力

高橋 一生

元国際基督教大学教授
リベラルアーツ21 代表幹事

- 国際諜謀が語る、これからの世界に必要な人材像
三つの千年代から見た世界の姿
近代のドラマ～民族国家と経済成長～
権力政治化する国際社会と国際協力 (1) 環境における日本の役割
権力政治化する国際社会と国際協力 (2) 国際開発協力における日本の役割

国政/教育

齋藤 健

農林水産副大臣
衆議院議員

- ジェネラリストの巨星・原敬
降りない日本へ～対米通商交渉を語る～
敗戦から学ぶ戦前のリーダーシップ (1) 明治の指導者
敗戦から学ぶ戦前のリーダーシップ (2) エリート論と歴史の検証作業
教育論～歴史の中のエリートたち (1) 「武士道のエトス」と「ノーブルス・オブリージュ」
教育論～歴史の中のエリートたち (2) 「道徳的緊張」を育む規範教育と幼児期読書
教育論～歴史の中のエリートたち (3) 個人の力量と社会の土壌
良質なリーダーをどう育てるか (1) 日本の官僚と現実の問題点
良質なリーダーをどう育てるか (2) 教養と選挙制度と改革
リーダーに必要な能力～ハーバードケネディスクールに学ぶ～
3年4か月の浪人時代を振り返って

国政

前原 誠司

元外務大臣、元民進党首
衆議院議員

- 前原レポート：米国から見た日本 (1) 安全保障と歴史問題
前原レポート：米国から見た日本 (2) アベノミクスと財政、オバマ時代の主要テーマ
なぜ政治家を志したのか～松下政経塾と三つの出会い～
四人の恩師

地方行政

蒲島 郁夫

熊本県知事

- 人生の可能性 (1) 誕生から結婚まで
人生の可能性 (2) ハーバードから熊本県知事へ
蒲島県政 (1) 決断の政治
蒲島県政 (2) 対応の政治
蒲島県政 (3) 目標の政治とくまもんの政治経済学

地方行政

村井 嘉浩

宮城県知事

- 創造的復興
震災から3年、民間活力とリスク予想に基づく宮城の挑戦
県知事として大切にしていること - 「自分が前に出よう」
常に全体の利益を考える～松下幸之助の発想にも通じる県政～
政治家の使命～目先にとらわれず50年、100年先のビジョンを描く～
「官民共創」を掲げて～産業構造の転換に取り組む～
人生に無駄はない～県議、自衛隊時代の経験が生きる知事の仕事～

国政/地方行政

山田 宏

参議院議員
元杉並区長

- 改革の柱は自立心と自尊心～山田区政・杉並改革の実績から
日本が取り戻すべき三つの教育～宗教心・道徳・歴史の大切さ
増殖しなせ問題なのか～貨幣と自由の関係論
横の民主主義と縦の民主主義

金融・経済

経済・国際

島田 晴雄
慶應義塾大学名誉教授

世界探訪シリーズ

- 沖縄問題を考える (1) 普天間基地移転問題の発端と日米の思惑
沖縄問題を考える (2) 橋本・クリントン会談と名護市民投票
沖縄問題を考える (3) 名護市長との議論と鳩山首相の発言
沖縄問題を考える (4) 沖縄の歴史：琉球王国と明、明治時代
沖縄問題を考える (5) 沖縄の歴史：太平洋戦争
沖縄問題を考える (6) 沖縄の歴史：戦後の沖縄と安全保障の考え方
シンガポールの謎 (1) 植民地時代から分離独立までの歴史
シンガポールの謎 (2) リー・クワンユーの大戦略
中国近代化の真実 (1) ヒンインと科擧
中国近代化の真実 (2) 日清戦争の爪痕
ブラジルの繁栄と転落 (1) フランシスコと軍政時代
ブラジルの繁栄と転落 (2) 長政移管後の大復活と債権国への道
日本とブラジルの将来に向けて～何を学び合えるか？
ブラジル訪問に学ぶ (1) 「犯罪国家」ブラジルの問題と底力
ブラジル訪問に学ぶ (2) ブラジルの頂点に導いた二人の大統領
ブラジル訪問に学ぶ (3) ブラジルの復元力の源は「多様性」と「明るさ」
イスラエルの今
近代イスラエルの誕生：その苦闘の背景 (1)
近代イスラエルの誕生：その苦闘の背景 (2)
イスラエルの歴史、民族の離散と迫害 (1)
イスラエルの歴史、民族の離散と迫害 (2)
イスラエルの安全保障観に学ぶ (1) 「先制攻撃」の背景にある「ホロコースト」のトラウマ
イスラエルの安全保障観に学ぶ (2) 古代イスラエルの滅亡と「ディアスポラ」
イスラエルの安全保障観に学ぶ (3) 現代イスラエルの建国
イスラエルの安全保障観に学ぶ (4) 存続への闘い
「夢ごうアメリカ、語らうニッポン」レポート (1) プロジェクトの経緯と背景
「夢ごうアメリカ、語らうニッポン」レポート (2) ケンタッキー編-1 アメリカのハートをかんだ日本企業の変遷
「夢ごうアメリカ、語らうニッポン」レポート (3) ケンタッキー編-2 本語で語る、本来の外交を知る
「夢ごうアメリカ、語らうニッポン」レポート (4) フィラデルフィア編-1 美術館の茶室と浮世絵に見る貴重な日本研究
「夢ごうアメリカ、語らうニッポン」レポート (5) フィラデルフィア編-2 米国で進む日本研究、見直したい日本の至
アゼルバイジャン訪問に学ぶ (1) 大國との位置関係とその歴史的経緯
アゼルバイジャン訪問に学ぶ (2) ポリシエヴィキ革命とナゴルノ・カラバフ問題
アゼルバイジャン訪問に学ぶ (3) 資源大國アゼルバイジャンの政治史
アゼルバイジャン訪問に学ぶ (4) グルジア・チェチェン・ウクライナからアゼルバイジャンを顧みる
ウズベキスタン訪問に学ぶ (1) 世界一成長率の高い國
ウズベキスタン訪問に学ぶ (2) カリモフ大統領の政治方針
ウズベキスタン訪問に学ぶ (3) 通貨、貿易、対日感情
メコン川の恵みとラオス経済 (1) ラオスの地理と歴史
メコン川の恵みとラオス経済 (2) エリートたちの実態
メコン川の恵みとラオス経済 (3) 首都ビエンチャン探訪記
メコン川の恵みとラオス経済 (4) 発展の現状と今後の課題
湖南省訪問記 (1) 長沙の町と湖南大学を訪ねて
湖南省訪問記 (2) 名門・湖南大学で感じた中国の「底力」
ハンガリー訪問に学ぶ (1) ハンガリーの歴史と現在
ハンガリー訪問に学ぶ (2) 社会主義体制の後遺症

激動する世界情勢と日本

- 激動する世界情勢と日本 (1) 世界経済に翻弄される日本
激動する世界情勢と日本 (2) 止まらない原油安の背景
激動する世界情勢と日本 (3) 中国高度成長時代の終焉
激動する世界情勢と日本 (4) 習近平政権の世界戦略
激動する世界情勢と日本 (5) 戦後アメリカ経済史と日本
激動する世界情勢と日本 (6) きしめられた欧州連合
激動する世界情勢と日本 (7) IS台頭の世界的要因
激動する世界情勢と日本 (8) アベノミクスの功罪
激動する世界情勢と日本 (9) 現代日本の構造的課題
激動する世界情勢と日本 (10) 成長戦略への10の提言

20世紀前半の日中関係

- 20世紀前半の日中関係～この歴史から何を学ぶか (1)
20世紀前半の日中関係～この歴史から何を学ぶか (2)
20世紀前半の日中関係～この歴史から何を学ぶか (3)

「積極的平和主義」とは何か

- 「積極的平和主義」とは何か (1) 世界史と世界情勢
「積極的平和主義」とは何か (2) 憲法改正と集団的自衛権
「積極的平和主義」とは何か (3) 戦後教育でゆがめられた日本人の危機意識
「積極的平和主義」とは何か (4) 日米安保条約とパクスアメリカーナ
「積極的平和主義」とは何か (5) 「Gゼロ」時代と日本の安保意識

日本経済は果たして、どこまで成長出来るか

- アベノミクスの成果とリスク (1) 第一の矢：金融緩和の効果とリスク
アベノミクスの成果とリスク (2) 第二の矢：積極財政と財政再建の難しさ

- アベノミクスの成果とリスク (3) 第三の矢：成長戦略と構造改革
安倍政権の成長戦略について～三つのアクションプランとその成果～
難航するTPP交渉～膠着状態の経緯と原因、今後の展望を考えると～
農業改革と規制改革の進捗状況の評価する
女性の活用～子育て支援
日本経済の成長の本当の可能性はどこにどれほどあるのか
岩盤既得権・規制分野の成長可能性 (1) 農林水産業
岩盤既得権・規制分野の成長可能性 (2) エネルギー
岩盤既得権・規制分野の成長可能性 (3) 医療
未活用資源の潜在的可能性 (1) 健康づくりと健康産業、女性の能力活用
未活用資源の潜在的可能性 (2) 都市と住宅
未活用資源の潜在的可能性 (3) 情報化とサービス

アベノミクス2年間の経験とこれからの日本経済

- アベノミクス2年の評価～第一の矢と第二の矢
アベノミクス第三の矢・日本再興戦略と新成長戦略
アベノミクス新成長戦略のポイント (1) TPPへ意図に向けた正念場
アベノミクス新成長戦略のポイント (2) 農業改革～三つの柱
アベノミクス新成長戦略のポイント (3) 働き方の改革～民主主義の悪影響を払拭
アベノミクス新成長戦略のポイント (4) 地方創生と社会保障改革～日本の命運を握る
待ったなしの経済動向と安倍首相の総選挙断行
「成長戦略」とは日本社会の体質改革である
日本の成長のキーワードは「全否定」
これからの日本へ～異次元成長戦略の提案

世界は日本をどう見ているか

- 欧州から見たアベノミクス (1) EUが抱える課題
欧州から見たアベノミクス (2) 日本病を克服するか
欧州から見たアベノミクス (3) 成否の行方に関心

トランプのアメリカと日本の課題

- トランプのアメリカと日本の課題 (1) トランプ・ショック New!
トランプのアメリカと日本の課題 (2) トランプの政策解剖 New!

リベラルアーツへのいざない

- 「島田村塾」リベラルアーツ特講 (1) 生き抜くためのリベラルアーツ
「島田村塾」リベラルアーツ特講 (2) 武器としてのソリューション
「島田村塾」リベラルアーツ特講 (3) 学校では教えない「イスラム」
「島田村塾」リベラルアーツ特講 (4) 日中の近現代史から見えるもの
「島田村塾」リベラルアーツ特講 (5) 世界で活躍するために日本を学ぶ
「グローバル・ビジネス・ハイスクール」の挑戦 New!

わが人生を振り返る

- 私の東京オリンピック体験「誇りと感動」(1)
私の東京オリンピック体験「誇りと感動」(2)

私がかのメディアにかけた思い

- ニューメディアの誕生：マルティン・ルターの宗教改革にかかわらず

経済・財政・産業振興

伊藤 元重

学習院大学国際社会科学部教授
東京大学名誉教授

経済時事列々

- アベノミクス～第3の矢は如何に投資を引き出すかがポイント
グローバル経済の動向～米国は強く欧州は安定、問題は新興國
TPPの本質はグローバル化～日本経済の活力に
アベノミクスで補目は変わったか～「改革のツボ」探り成果を～
消費増税、ここがポイント～景気は失速するの～
「実質実効」の円レートと今後の為替動向
まともななかったTPP交渉～これで全て終わりではない、妥結に向けた今後のポイント～
法人税改革はアベノミクス第三の矢の試金石
「対内直接投資」が日本経済を元気にする
アベノミクスの中間総括
円安が進んでいるのになぜ輸出が増えないのか？
中国の不動産バブル崩壊は本当に起こるのか～三つのケースとの比較～
医療改革～医療費抑制のための二つの方向性～
格差と成長～トマ・ピケティ『21世紀の資本』考
日本経済の展望～「3景」の金力、為替、原油
日銀物価見直し修正～脱デフレはトータルで判断
財政健全化～増税先送りの影響と社会保障改革
TPP交渉～TPA法案が妥結のポイント
最終合意送りに～どうなるTPP交渉
中国経済の「ニュー・マール」
中国経済の動向と正確な楽観論の必要性
日本経済の救世主は「雇用」の中から出現するか
BRICsの幻想・中国の勘違い
今回の解散総選挙が経済に与える影響
日本の大バーゲンセールが始まった～実質実効がポイントに注目せよ！

- 日本の電力システム改革～発送電分離と小売の自由化
- AIBBの現状と今後の展望
- 財政健全化～歳入抑制とともに財政の質的向上を
- 脱デフレのポイント (1) 労働市場～賃金と産業調整～
- 脱デフレのポイント (2) 投資～物価と貯蓄の流動性～
- マイナス金利導入～エルビコン川を渡った日銀の黒田総裁～
- 今後、日本の賃金は上がるのか
- TPP署名式を終えて～今後の各国の動きと日本の未来予想
- ホンハイのシャープ買収～日本の対内直接投資を考える
- 「同一労働同一賃金」～日本の働き方はどう変わるのか
- 「消費増税再延期」を考える～三つの手法と三つの論点
- スーパースターの経済学とAIの可能性
- 働き方改革～同一労働同一賃金とワークライフバランス
- 黒田ハズーカの影響とこれからの成長戦略との関係で読む

日本の「稼ぐ力」再興戦略

- 破壊型イノベーションの必要性
- 日本企業の「稼ぐ力」を創出するために
- Amazonが促す流通革命
- コンビニエンスストアの戦略に見る流通市場のトレンド
- 日本の「稼ぐ力」を創出するために (2) 「選択と集中」の具体的事例
- ビッグデータ活用が社会や産業の構造を変える
- コンビニの戦略～高級PB商品の好時のステップ
- 情報技術の破壊力
- 財政赤字の特効薬は、遅やかなインフレ
- 東北、沖縄発～チャンスをつかんだ地域活性化実例
- シェアードエコノミーとプロダクト・アズ・ア・サービス
- アジア大交流時代の観光戦略
- 情報革命の未来～消える仕事、伸びる仕事
- 学習院大学国際社会科学部の創設
- セキュリティ・テクノロジーと技術革新
- サブスクリプション・ビジネス・モデルから考える
- ハブ・アンド・スポークからローカル・トゥー・ローカルへ

国際金融経済



植田 和男

東京大学大学院
経済学研究科教授

全16話

植田和男の金融経済シリーズ

- FEDの金融政策、米国株債から見る日本経済の今後
- 公的年金運用の基本姿勢を考える～GPIFの基本ポートフォリオの見直し～
- アベノミクスの正念場～東大日次指数から見る～
- 米国の異例の金融緩和終了へ
- 円安が日本経済に与える影響
- GDP速報値から読み解くアベノミクスの評価と今後の展望
- 欧州の金融緩和策と初の「マイナス金利」とは？
- 半年で2倍に急上昇した中国株～バブル到来か～
- ギリシャ危機～経済指標から見る今後の展望～
- 難民とテロ問題で揺れるヨーロッパ経済
- 日本の経済動向：2015年秋～アベノミクスの正念場
- 世界金融経済情勢と日銀のマイナス金利
- 「ハリコフターナー」とは何か？
- ギリシアEU離脱のグローバル経済への影響
- 日本銀行の新しい政策枠組み (1) 二つの変更ポイント
- 日本銀行の新しい政策枠組み (2) 金利政策と今後の予想

為替



高島 修

シティグループ証券
チーフFXストラテジスト

全41話

- 原油安と為替相場への影響 (1) 原油安の理由
- 原油安と為替相場への影響 (2) 原油安の影響
- 原油安と為替相場への影響 (3) 円相場への影響
- 原油安と為替相場への影響 (4) 98年との類似性
- スイスショックとユーロ安 (1) スイスショックとは何だったのか
- スイスショックとユーロ安 (2) スイス中銀が上限レートを撤廃した背景
- スイスショックとユーロ安 (3) スイスのユーロヘッグ制度導入の背景
- スイスショックとユーロ安 (4) スイスショックが為替相場に及ぼす影響
- ユーロの十字架とギリシャ問題 (1) ユーロ安の背景と今後の見直し
- ユーロの十字架とギリシャ問題 (2) 欧州通貨危機の歴史
- ユーロの十字架とギリシャ問題 (3) 欧州ソブリン危機が引き起こされたユーロの構造問題
- ユーロの十字架とギリシャ問題 (4) ギリシャ問題の経緯と今後の見直し
- 円安をどう捉えるか～購買力平価で見るアベノミクス
- 円安をどう捉えるか～円の実効相場の推移を見る
- 円安をどう捉えるか～円安は行き過ぎているのか？
- 年金改革 (1) 日本の投資家
- 年金改革 (2) GPIFの資産運用
- 年金改革 (3) GPIF運用変更が市場に与える影響
- 続落するインドルピーへの経済政策は？
- 期待されるモディ政権、メイクインインディヤ政策とは？
- 世界で重要性が増すインドの経済成長
- 実質実効円相場から為替を読む (1) 黒田発言の意図
- 実質実効円相場から為替を読む (2) IMFの見方
- 実質実効円相場から為替を読む (3) 均衡が為替レート
- 中国人民元切り下げの背景
- 中国人民元切り下げによる他国への影響
- 中国人民元切り下げによる今後の見直し
- ブラジルレアル安の行方 (1) レアル売り・五つの理由
- ブラジルレアル安の行方 (2) 2011年政策転換の影響
- ブラジルレアル安の行方 (3) 底入れのシナリオ
- 日銀がマイナス金利政策を導入 (1) 導入の背景
- 日銀がマイナス金利政策を導入 (2) 決定事項
- 日銀がマイナス金利政策を導入 (3) 今後の為替見直し

- ブラジルレアルの反発 (1) 国内要因
- ブラジルレアルの反発 (2) グローバル要因
- ブラジルレアルの反発 (3) メキシコペソとの対比
- ブレグジットと英ポンド相場 (1) EU離脱を選択した背景
- ブレグジットと英ポンド相場 (2) 英ポンドの長期的問題
- ブレグジットと英ポンド相場 (3) 英ポンド相場の中期展望
- ブレグジットと英ポンド相場 (4) ドル円相場への影響
- トランプ時代の米ドル相場 (1) 米大統領選挙と為替相場 New!

金融経済全般



柳川 範之

東京大学大学院経済学研究科・
経済学部教授

全8話

- ファミリービジネスとAI (1) 注目されるファミリー企業
- ファミリービジネスとAI (2) ハイパフォーマンスの理由
- ファミリービジネスとAI (3) 「透明性」と「家訓」
- ファミリービジネスとAI (4) 人工知能に対する誤解
- ファミリービジネスとAI (5) AI時代に求められる能力
- ファミリービジネスとAI (6) 人間がAIより有利な点
- ファミリービジネスとAI (7) これからの教育に向けてNew!
- ファミリービジネスとAI (8) 質疑応答 New!

公益資本主義・投資



原文人

内閣府参与/アライアンス・
フォーラム財団代表理事

全2話

- 「公益資本主義」の確立に向けて (1) 「株主重視」の考え方と日本とのべき道
- 「公益資本主義」の確立に向けて (2) 社会貢献や人生観、経済システムから日米の違いを読み解く

株式投資



菅下 清廣

スガシタパートナーズ代表取締役社長
国際金融コンサルタント

全22話

- 株式相場を読む (1) 読み方の基本～アベノミクスを例に～
- 株式相場を読む (2) アベノミクスで日経平均株価はどこまで上がるのか
- 株式相場を読む (3) 2015年どのような株を買うべきか～平成の大相場がやってくる～
- 株式相場を読む (4) 2015年の株式市場を大予想！
- 株式相場を読む (5) 押し目買いのタイミングを鋭く分析！
- 円・ドル相場を読む (1) 短期的見直し
- 円・ドル相場を読む (2) 中・長期的見直し
- 3～4月に日経平均2万円の倍返し上昇！？
- 株価2万円目前の波動とリスク
- NYダウ平均株価の動向と今後の見直し
- 緊急取材！急落の日経平均、今後の見直しは？
- 1万7000円割れて、底入れか!? 3つのシナリオ！
- ギリシャ危機、中国株急落でどうなる!? 平均株価のゆくえ！
- 日経平均株価2万円の攻防と2015年の注目セクター！
- 日経平均株価2万円突破と今後のゆくえ
- 日経平均1万8千円割れ！今後注目すべき指標は！？
- 2016年前半の日経平均株価を大予想！
- マイナス金利で2万円回復？どうなる日経平均株価！
- 2016年夏までの日経平均、「5月相場」が転機となるか！？
- 2016年後半戦の「株価の行方」
- 英国EU離脱で底入れか？株価上昇の時期を大予想！
- トランプ新大統領でどうなる？2017年の株式相場を大胆予測 New!

ビジネス・経営

経営学



野田 一夫

経営学者
日本総合研究所名譽会長

全3話

- 戦前派～日本人の歴史～太平洋戦争と敗戦後を顧みて… (1)
- 戦前派～日本人の歴史～太平洋戦争と敗戦後を顧みて… (2)
- 本物の経営学、ドラッカー、MIT

経営哲学



小林喜光

経済同友会代表幹事
三菱ケミカルHD取締役会長

全8話

- エレクトロニクス産業の凋落要因と化学産業の目指すべき方向性 (前編)
- エレクトロニクス産業の凋落要因と化学産業の目指すべき方向性 (後編)
- 赤字は罪悪である～経営者としての信念と覚悟
- 今、求められる経営者像とは？
- グローバル時代のハイエンド教育
- 経営者としての生きる証～ゲーム理論の実践
- GDPに代わる日本の目標
- 国への二つの提言～企業の海外移転と長から見た国家論～

事業戦略・教育・国際関係



葛西 敬之

東海旅客鉄道 (JR東海)
代表取締役名譽会長

全6話

- 東海旅客鉄道50周年と海外展開 (1) 日本型高速鉄道システムを世界標準へ
- 東海旅客鉄道50周年と海外展開 (2) 21世紀の新たな飛躍 超電導リニア (SCMAGLEV)
- 超電導リニア (SCMAGLEV) を日米同盟のショーケースに
- 今の日本で優れたリーダーを育てられるのか
- 日本のリーダーはどうあるべきか
- 日米同盟の必要性～アメリカにとって日本は死活的に必要な同盟国～

経営哲学・教育



大竹 美喜

アフラック創業者

全6話

- 欧米の金融資本主義に対する警鐘
- 歴史を知り、偉大な先人に学び、真のリーダー像を考える
- 2020年の再出発に向けて～大きな視野で捉えるウォーミングアップの時期～
- 魅力ある国家形成のために～挑戦し、限界を突破する～
- 自立し自律する若者を育てるために～言葉の力と心の力を養う
- 努力の積み重ねこそが勝利への道

経営戦略・企業再生



澤田 秀雄

エイチ・アイ・エス代表取締役会長
兼社長 最高経営責任者 (CEO)

全9話

- わが行動原則「運気と波動」
- ハウステンボス再生への戦略 (1) 仕組めで勝ち
- ハウステンボス再生への戦略 (2) 失敗と経歴に学ぶ
- 国を豊かにする方法～今の行政に欠けていること～
- 「挑戦と失敗」で語る企業立上げと再生の物語
- 再生ハウステンボス～三つのポイントで人を動かす
- 再生ハウステンボス～失敗と新たな挑戦
- 再生ハウステンボス～止まらないイノベーション
- 再生ハウステンボス～感動は人から、企業も人から

グローバル化



藤森 義明

LIXILグループ
前取締役代表執行役社長兼CEO

全4話

- 藤森義明のGE流経営論 (1) GEからLIXILへ
- 藤森義明のGE流経営論 (2) ストレッチとダイバーシティ
- 藤森義明のGE流経営論 (3) リーダー教育の日米格差
- 藤森義明のGE流経営論 (4) 日本のリーダー育成のために

グローバル化



田中 能之

デュボン
代表取締役社長

全4話

- デュボンから見た世界と日本 (1) 2000年企業の大変革
- デュボンから見た世界と日本 (2) コアな強みに立脚する日本の価値
- デュボンから見た世界と日本 (3) グローバル、アジア、日本を比較する
- デュボンから見た世界と日本 (4) 長期的なオンリーワン戦略で飛躍する日本企業

グローバル化 全5話

成清 雄一
TOTO
取締役常務執行役員

- TOTOの北九州発グローバル戦略 (1) 工学博士が総務部長？
- TOTOの北九州発グローバル戦略 (2) 美は海外でも稼ぐTOTOの「けじめ」
- TOTOの北九州発グローバル戦略 (3) 北九州から本社を移さない理由
- TOTOの北九州発グローバル戦略 (4) TOTOを鍛えたカリフォルニア州の規制とコアバリュー
- TOTOの北九州発グローバル戦略 (5) 「ブランドを買う」ことを目的にしない理由

イノベーション 全5話

森川 亮
C Channel代表取締役
前LINE代表取締役社長

- LINE流イノベティブ思考術 (1) 空気読みと緊張感
- LINE流イノベティブ思考術 (2) ソフトと組織
- LINE流イノベティブ思考術 (3) 価値の「先」をデザインする力
- LINE流イノベティブ思考術 (4) 企業がすべきこととやめるべきこと
- LINE流イノベティブ思考術 (5) 常に変化し続ける

経営戦略論 全7話

谷口 和弘
慶應義塾大学
商学部教授

- ダイナミック・ケイパビリティ (1) 不確実な時代の経営論
- ダイナミック・ケイパビリティ (2) 超競争時代への突入
- ダイナミック・ケイパビリティ (3) ビジョンと戦略経営
- ダイナミック・ケイパビリティ (4) ケイパビリティとは何か
- ダイナミック・ケイパビリティ (5) 感知・捕捉・転換
- ダイナミック・ケイパビリティ (6) プレない経営者の資質
- ダイナミック・ケイパビリティ (7) 質疑応答

グローバル化/企業分析 全10話

大上 二三雄
エム・アイ・コンサルティング
グループ代表取締役

- 外資系グローバル企業と日本企業の比較から読み解く日本企業の戦略 (1) なぜソニーは苦しんでいるのか？
- 外資系グローバル企業と日本企業の比較から読み解く日本企業の戦略 (2) 古河グループ5代の歴史と富士通の躍進
- 日本企業の比較から読み解く日本企業の戦略 (3) ファナックに学ぶ
- 外資系グローバル企業と日本企業の比較から読み解く日本企業の戦略 (4) テュボンのしなやかな変化
- 外資系グローバル企業と日本企業の比較から読み解く日本企業の戦略 (5) 日本企業の課題と解決策
- 日本企業のグローバル化を考える (1) 日本の社会文化の形成
- ヘンッセ〜「フログラン」による改革は成功するか？
- 三井物産〜純日本企業的な社風と本質、成長課題
- 武田薬品〜外国人トップの改革に会社は耐えられるか？
- 中外製薬〜外資連邦経営の中で行う企業改革

モノづくり・製品戦略 全4話

蓮実 一隆
ソフトバンクロボティクス
プロダクト本部取締役本部長

- 「Pepper」の全て (1) ヒト型ロボット誕生の秘密
- 「Pepper」の全て (2) Pepperの心が創る価値
- 「Pepper」の全て (3) もしウチにロボットがいたら
- 「Pepper」の全て (4) ロボットと暮らし未来

企業戦略 全4話

高橋 誠一
三光ソフランHD
代表取締役社長

- 億万長者への道 (1) お米屋さんから不動産業界へ
- 億万長者への道 (2) 拡大破滅型リスクを回避し業績商売の道へ「お金持ち大家さん」を語る
- 介護施設事業、急成長の舞台裏

経営哲学 全10話

江口 克彦
前参議院議員
元PHP研究所代表取締役社長

- 松下幸之助の言葉 (1) 一人も解雇するな、1円も給料を下げるな (前編)
- 松下幸之助の言葉 (1) 一人も解雇するな、1円も給料を下げるな (後編)
- 松下幸之助の言葉 (2) 心の中で手を合わすように
- 松下幸之助の言葉 (3) 「勝てば官軍」はあかんよ
- 松下幸之助の言葉 (4) 批判してくれる人は大事にせんとあかん
- 松下幸之助の言葉を語る (1) 秘書から経営者への転身
- 松下幸之助の言葉を語る (2) 経営者としての悟り
- 松下幸之助の言葉を語る (3) 遊んでも心を許さないのが経営者
- 松下幸之助の言葉を語る (4) 「自己顕現」と日本の伝統精神
- 松下幸之助の言葉を語る (5) 自主独立の気概を持つ

経営哲学・教育 全6話

佐野 尚見
松下政経塾理事長
元パナソニック代表取締役副社長

- 松下幸之助の経営理念 (1) 私と幸之助、PHPの出会い
- 松下幸之助の経営理念 (2) 創業から戦後への歩み
- 松下幸之助の経営理念 (3) 原点は船場の丁稚奉公
- 松下幸之助の経営理念 (4) 経営改革の原点は風土改革
- 松下幸之助の経営理念 (5) 四つの「シンサイ」で人を見る
- 松下幸之助の経営理念 (6) 質疑応答

経営哲学・教育 全23話

松下 幸之助
パナソニック (旧松下電器産業)
グループ創業者

松下幸之助のつくり

1. 真のリーダーとは
- (1) 武蔵は師を持たずして剣聖となった一自修自得
 - (2) 羊飼いは羊の性格を知っている一人間の把握
 - (3) とらわれない心になれば白は白に見える一素直
 - (4) 多くの意見を聞き、ど真剣に考える一衆知を集める
 - (5) あんた、姿見持とるとか一運と愛敬
 - (6) わしなら人がたくさんいる前て皿回しやる一素志貫徹
 - (7) 信念に比例して、賛成者は必ず増える一先駆開拓
 - (8) 塾生に最初に贈る言葉はこれやな一大忍
 - (9) 鳴かぬならそれもおよよしトギス一自然体の経営
 - (10) 犬の尾の振り方から何かを発見できる一万事研精
 - (11) 「猫に小判」じゃ駄目だ一情熱/真剣勝負

2. 塾設立の究極の目的

- (1) 国家経営かあるべしと発表する
- (2) PHP〜繁栄・平和・幸福を行き渡らせる〜
- (3) 全人類の幸せに挑戦する
- (4) 若い諸君に、未来を託す
- (5) 国家百年の計を発表する
- (6) 本当の政治家を育てる

3. 理想の政治

- (1) 国家に経営理念があれば、もって日本は発展する
- (2) 日本を根本から検討し直す
- (3) 無祝国家と新国土創成〜二大国家経営テーマ (前編)
- (4) 無祝国家と新国土創成〜二大国家経営テーマ (後編)
- (5) 政治の生産性〜安くて良い政治の実現 (前編)
- (6) 政治の生産性〜安くて良い政治の実現 (後編)

社会・福祉/教育

志 全13話

上甲 晃
志ネットワーク
代表

- 人生の転機 (1) 松下電器退職と「心の背骨」
- 人生の転機 (2) 日本の若者の「志力回復」を人生のテーマに
- 松下幸之助と上甲晃のつくり (1) 人間力を高める
- 松下幸之助と上甲晃のつくり (2) 志と底力
- 「志」とは何か？
- 己の損得を超えろ〜上甲氏自身の人生の葛藤

- 松下電器を辞めて決めた「人生のテーマ」
- 「青年塾」運営のための3つの約束
- 松下幸之助のつくり
- 真理は平凡の中にある
- そこまでやるか
- マザーテレサとの出会い
- 松下幸之助から学んだこと〜経営の根本は「シラス」にあり

グローバル人材育成 全5話

小林 りん
ISAK
代表理事

- 全寮制国際高校ISAKの挑戦 (1) メキシコでの原体験
- 全寮制国際高校ISAKの挑戦 (2) リーダーシップの育成
- 全寮制国際高校ISAKの挑戦 (3) これからの人材育成
- 全寮制国際高校ISAKの挑戦 (4) 大切な三つの力
- 全寮制国際高校ISAKの挑戦 (5) 素直は意志である

人権 全3話

土井 香苗
ヒューマン・ライツ・ウォッチ
日本代表

- ヒューマン・ライツ・ウォッチ (1) 活動の3つの柱
- ヒューマン・ライツ・ウォッチ (2) 北朝鮮の人権問題
- ヒューマン・ライツ・ウォッチ (3) 子どもの人権問題

社会的投資 全2話

工藤 七子
日本財団ソーシャルイノベーション
本部社会的投資推進室

- 社会的インパクト投資 (1) 社会課題の解決を追求する投資
- 社会的インパクト投資 (2) 新しい投資モデル「SIB」

自殺 全6話

末井 昭
編集者・作家

- 末井昭、「自殺」を語る (1) 母のダイナマイト心中
- 末井昭、「自殺」を語る (2) 悔みから広がる輪
- 末井昭、「自殺」を語る (3) 樹海探検と自殺スパイラル
- 末井昭、「自殺」を語る (4) 『秋田県の屍』と自殺率
- 末井昭、「自殺」を語る (5) 生き心地の良い町の秘密
- 末井昭、「自殺」を語る (6) 「へた者の家」の可能性

障害者支援 全4話

臼井 二美男
義肢装具士・切断者スポーツクラブ
「ヘルス・エンジェルズ」代表

- 義肢装具士の世界と義足作り (1) 義肢とは何か？
- 義肢装具士の世界と義足作り (2) リハビリと支援の充実
- パラリンピックでの衝撃と「ヘルスエンジェルズ」の挑戦
- 義足を脱せる！〜義足モデルによるファッションショー開催

医療

前立腺がん・男性ホルモン 全18話

堀江 重郎
順天堂大学医学部
大学院医学研究科教授

- 在宅医療
- 「ダヴィンチ」は医療経済にどのような影響を与えるか
- ロボット手術が拓く外科イノベーション「ダヴィンチ」
- やる気に関係するホルモン「テストステロン」
- 前立腺がんの治療・予防の最新動向
- エボラ熱の流行と対策について
- 「男性更年期」とは何か

- タバコを吸う人の健康法～續びにくい体づくり
- 「精子力」を高める三つの方法
- 1分チャージ！ 新・エグザサイズ理論
- スマートフォンを活用した近未来の医療改革
- 男性医学とテストステロン (1) リーダーと男性ホルモン
- 男性医学とテストステロン (2) 冒険・社会性・競争
- 男性医学とテストステロン (3) 男性ホルモンと性格
- 男性医学とテストステロン (4) 男性ホルモン低下の影響
- 男性医学とテストステロン (5) 男性性を医学から支える
- 男性医学とテストステロン (6) 質疑応答
- 腸内細菌の可能性とマイクロバイオームのダイバーシティ
- 選択する医療 (1) エビデンス重視主義
- 選択する医療 (2) シェアード・ディビジョン・メイキング
- リーダーシップのホルモン

■ 医療・医療制度 全6話



今村 聡

日本医師会
副会長

- 日本の医療を考える (1) 医療制度を支える三つの特徴
- 日本の医療を考える (2) 医療費を支える財源
- 日本の医療を考える (3) 日本の医療の評価
- 日本の医療を考える (4) 「かかりつけ医」の2つの役割
- 日本の医療を考える (5) 今後の課題
- 日本の医療を考える (6) 「健康経営」で人と企業を守る

■ かゆみ・アトピー性皮膚炎 全4話



高森 建二

順天堂大学
名誉教授

- かゆみのメカニズム (1) かゆみのさまざまな原因
- かゆみのメカニズム (2) かゆみの分類と伝達経路
- かゆみのメカニズム (3) アトピー性皮膚炎に迫る
- かゆみのメカニズム (4) 透析や肝疾患に伴うかゆみ

■ 腰痛 全2話



菊地 臣一

福島県立医科大学
理事長兼学長

- 最新の腰痛医療 (1) 導入された二つの医療と慢性腰痛
- 最新の腰痛医療 (2) 運動療法と認知行動療法

■ 膝関節症 全2話



黒澤 尚

順天堂大学医学部
整形外科学特任教授

- “膝の痛みの名医”が語る (1) 変形性膝関節症とは
- “膝の痛みの名医”が語る (2) 世界が認めた運動療法

■ 骨・人工骨 全5話



鄭 雄一

東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻教授

- 若い骨のつくり方 (1) 高齢化と骨の病気
- 若い骨のつくり方 (2) 骨の役割と構造
- 若い骨のつくり方 (3) 骨の生理的老化と病的老化 **New!**
- 若い骨のつくり方 (4) 健康常識の誤り **New!**
- 若い骨のつくり方 (5) 骨を強くするためにできること **New!**

■ うつ病・気分障害 全9話



渡部 芳徳

ひもろぎGROUP理事長
東邦大学薬学部客員教授

- うつ病治療最前線 (1) うつ病の身体症状と治療の実際
- うつ病治療最前線 (2) 社会復帰へのリワークプログラム
- うつ病治療最前線 (3) 多剤併用と「アン・サボ」の可能性
- うつ病治療最前線 (4) 目に見える精神医療
- うつ病対策と経営リスク (1) うつ病の要因と対策
- うつ病対策と経営リスク (2) うつ病の「見える」化
- うつ病対策と経営リスク (3) 認知行動療法の効果
- うつ病対策と経営リスク (4) 精神科薬イノベーション
- うつ病対策と経営リスク (5) 新たなながり治療のあり方

環境・資源

■ エネルギー／社会 全59話



小宮山 宏

三菱総合研究所理事長
東京大学第28代総長

講師陣座長

世界を俯瞰する

- 知識の爆発
- 人工物の飽和
- 人類の成果・高齢化を楽しむ
- 飽和型から創造型に移り変わる需要
- イノベーションがビジネスを生む「創造型需要」

日本を考える

- 日本が成し遂げた四つの偉業
- 課題先進国としての日本
- 資源大国日本 (1) 「都市鉱山」の可能性
- 資源大国日本 (2) 加工貿易立国の終焉
- エネルギー自給国家の実現
- 飽和の時代を迎えた日本に欠けているものは？
- グローバルとローカルがつかない日本
- COP21の成果と日本の役割

プラチナ構想ネットワーク

- 「プラチナ社会」実現に向けて
- プラチナ構想ネットワークとは？
- プラチナ社会における林業
- プラチナ社会における農業
- 会社は社会を変えられる～これからのCSR
- 楽観は強い意志であり、悲観は人間の本性である
- 円安は日本の新たな産業育成のチャンス
- 女性に選択の自由が生まれた時代

再生可能エネルギーが拓く未来

- 再生可能エネルギーの可能性～将来有望な中小水力発電
- 再生可能エネルギーの未来～小水力発電と地方再生
- 中小水力発電の対アジア輸出で創造型需要をつくる
- 対アジア輸出の可能性を広げる小水力発電
- 蓄電池はより安くなる～再生可能エネルギーの技術予測

技術と社会を考える

- 身近なところから技術でエコ
- 究極の省エネ自動車
- グラフの座標軸は思想を表す
- 脳が大丈夫ならロボットで自立

教育と社会を考える

- 志のある学生を育てるために
- 教育の多様性
- 新しい教育ビジョン～産業革命の兵士育成とはさまざま～
- 大学経営の新しい仕組みをつくる

講演：持続可能で明るい低炭素社会 ビジョン2050の実現

- 持続可能で明るい低炭素社会 (1) 転換期の「飽和」
- 持続可能で明るい低炭素社会 (2) 目指す省エネ社会
- 持続可能で明るい低炭素社会 (3) 再生可能エネルギーの時代
- 持続可能で明るい低炭素社会 (4) 知の構造化と見える化

講演：プラチナ未来人材育成塾@会津

- 2050年の世界を考える－世界の現状 (1) 視点1：豊かさは再び均一化していく～その1
- 2050年の世界を考える－世界の現状 (2) 視点1：豊かさは再び均一化していく～その2
- 2050年の世界を考える－世界の現状 (3) 視点2：人工物は飽和する
- 2050年の世界を考える－日本再発見 (1) 公害の克服
- 2050年の世界を考える－日本再発見 (2) エネルギー危機を効率的に克服
- 2050年の世界を考える－日本再発見 (3) 課題解決実績のある「課題先進国」
- 2050年の世界を考える－21世紀のビジョン「プラチナ社会」
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (1) 美しい生態系
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (2) エネルギー自給
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (3) 暖房の熱ってどこに行っているの？
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (4) できる！小宮山エコハウス
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (5) 都市鉱山 (リサイクル)
- 2050年の世界を考える－プラチナ条件 (6) 2050年に資源自給国家を目指す！！
～一緒に未来を創ろう
- 2050年の世界を考える－質疑応答 (1) 高齢化がビジネスチャンスになる理由
- 2050年の世界を考える－質疑応答 (2) 成長産業としての林業
- 2050年の世界を考える－質疑応答 (3) 2050年の雇用問題と経済格差問題
- 2050年の世界を考える－質疑応答 (4) 日本の食料自給率を高める方法

わが人生を振り返る

- 研究者を志したきっかけ
- 人生はアクシデンタルに決まる (1) 化学工学の道に進んだ偶然
- 人生はアクシデンタルに決まる (2) 課題設定と経験の結晶化

私がこのメディアにかけた思い

- 1話10分のノーカット・ハイクオリティメディア

■ 気象・地球温暖化 全9話



住 明正

国立環境研究所理事長
東京大学名誉教授

- 地球温暖化問題 (1) 気温の問題と温室効果
- 地球温暖化問題 (2) イベントアトリビューションとは
- 地球温暖化問題 (3) 季節予報の精度向上へ
- 地球温暖化問題 (4) 排出削減から適応へ
- 地球温暖化問題のリスクとコスト
- 「不確実性」と「不都合」の確率分布
- 地球の限界と日本人が幸せに生きる道
- 気象予報の歴史と今後の展望
- サステイナビリティ学とは何か

■ レアメタル 全18話



岡部 徹

東京大学
生産技術研究所副所長・教授

- レアメタルとは何か～レアメタルをめぐる主要課題
- 中国レアアース対日禁輸と日本の資源戦略
- レアな研究者ははがきに「精錬」されたか
- 夢は「チタン問屋」～チタンをコモンメタルへ
- 紛争鉱物～レアメタルが抱える光と影
- 不安な白金族金属～パラジウムが世界に及ぼす影響
- レアメタル資源戦略～四つのポイント
- アニメで入門「身近なレアメタル」
- レアメタルは本当に体に良いのか？
- 岡部徹の世界の鉱山・精錬所アドベンチャー紀行
- レアメタルの光と影 (1) イントロ
- レアメタルの光と影 (2) チタンの優れた特長
- レアメタルの光と影 (3) レアメタルの可能性と課題
- レアメタルの光と影 (4) 関連報道のウソ・ホント
- レアメタルの光と影 (5) 中国レアアース行脚
- レアメタルの光と影 (6) 技術制約と環境規制
- レアメタルの光と影 (7) パリイ・オブ・ネイチャー
- レアメタルあれこれ～東大岡部研究室潜入レポート

■ 水・水循環 全13話



沖 大幹

国際連合大学上級副学長
東京大学生産技術研究所教授

- 水と地球と人間と (1) 水と文明
- 水と地球と人間と (2) 水と経済
- 水と地球と人間と (3) 水と気候変動
- 水と地球と人間と (4) 水と災害
- 水と地球と人間と (5) 水の七不思議と水の危機
- 水と地球と人間と (6) 小水力発電の可能性
- 水と地球と人間と (7) 勉強と研究の違い
- 水と地球と人間と (8) 水問題は「気持ち」の問題
- 水ビジネスの動向 (1) 水不足は本当か
- 水ビジネスの動向 (2) サービスマネジメントの現況
- 水ビジネスの動向 (3) 水リスクマネジメントの現況
- 水ビジネスの動向 (4) 水問題をめぐる感情論
- 水ビジネスの動向 (5) 水幹が水の疑問に答える

■ 地震 全2話



額 頌 一起

東京大学
地震研究所教授

- 地震を知って防災に生かす (1) 地震のメカニズム
- 地震を知って防災に生かす (2) 日本はなぜ地震国なのか

■ 木質構造・木造建築 全13話

腰原 幹雄 東京大学 生産技術研究所教授

■ 自然エネルギー 全2話

飯田 哲也 環境エネルギー 政策研究所所長

■ 津波・木質バイオマス発電 全2話

田中 博通 東海大学 海洋学部教授

科学技術

■ 発酵・食文化 全7話

小泉 武夫 農学博士・食文化評論者 東京農業大学名誉教授

■ 生物の進化 全7話

長谷川 真理子 総合研究大学院大学 副学長

■ 人工知能 全8話

松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授

ディーラーニング最前線 (1) 国産で勝利した人工知能 (2) 最新の画像認識技術 (3) 自動運転と自動翻訳技術 (4) 日本のAI戦略

ロボット 全7話 石川 正俊 東京大学大学院 情報理工学系研究科教授

高速ビジョンが創る未来 (1) シンセシスの科学技術 (2) 高速画像処理の仕組み (3) 高速度画像処理の仕組み (4) ヒューマンインターフェース (5) 産業・医療分野への応用 (6) 夢のロボットが実現 (7) 夢のイノベーションに向けて

■ 海中ロボット 全24話

浦 環 九州工業大学社会具現化ロボットセンター長・特別教授/東京大学名誉教授

■ サイバーセキュリティ/教育 全27話

齋藤 ウリウム 浩幸 インテカー代表取締役 内閣府本府参事

イノベーションを起こすチームの力 日本のサイバーセキュリティの現状と未来 日本の再生戦略—バッシュンとビジョン 世界から見た日本 (1) カタカナ語のカラバコ化と内向志向 世界から見た日本 (2) レジリエンスと教育制度 齋藤ウリウム流教育方針—好奇心と経験 日本のリソースをビジネス・チャンスにするために 80年代日本のリマインダー 教育に必要な破壊的イノベーション マクロな視点から日本を捉える 「テザリング・イン・ジャパン」の未来へ ガバナンス・リスクとしたサイバー攻撃 現代日本の「自信喪失」と教育の「失敗」 来るべきセキュリティの時代 緊張感なき日本の教育 人口減少時代の成長戦略 「平和ボケ」の代償—優秀過ぎる日本の課題— 「エリートになる」というモチベーション 「肩書」と「組織」にしがみつく世代 世界標準の危機 (1) セキュリティはレジリエントであれ (2) ICT活用への勘違い (3) 「パワフル」経営の心霊 世界標準の危機 (4) 「平和ボケ」から目覚めよう 世界標準の危機 (5) 年功序列の落とし穴 世界標準の危機 (6) 「失敗」が育むリーダーシップ 世界標準の危機 (7) 日本官僚の大いなる抵抗 世界標準の危機 (8) 「ネットワーク」の効用

■ 科学技術振興 全2話

高柳 雄一 多摩六都科学館 館長

文化・芸術

ラグビー 全8話 清宮 克幸 ラグビートップリーグ ヤマハ発動機ジュビロ監督

清宮克幸の「監督術」 (1) 現有戦力を財産とする (2) 突き抜けたものをつくる (3) ベースからスタイルをつくる (4) 敗北の教訓を活かす (5) 選手たちを染めつけていく (6) 伝える力でチームを変える (7) 戦うための体をつくる (8) 印象深い「場」をつくる

文学・エッセイ 全5話 浅見 帆帆子 作家 エッセイスト

感じる力 (1) すべてを直感で選ぶ (2) 直感の育て方 (3) 「本音」は未来からの情報—日常生活で実験を！ (4) 「起こることはすべてベスト」の理由 (5) 守護神 (目に見えないもの) の働きを認める—宇宙につながる方法

哲学・思想

■ 東洋哲学・思想 全38話 中島 隆博 東京大学 東洋文化研究所副所長・教授

現代中国の儒教復興 (1) 国家のレジティマシーと儒教 (2) 儒教をどう捉えるのか (3) 儒教は宗教なのか (4) ホスト-ゲスト時代の宗教の意味 (5) 東アジアにおける近代の啓蒙 (1) 胡適と福沢諭吉の「浅い啓蒙」 (2) 東アジアにおける近代の啓蒙 (2) 浅い啓蒙と深い儒教 (3) 東アジアにおける近代の啓蒙 (3) 仏教から新儒教へ—朱熹と朱子学 (4) 東アジアにおける近代の啓蒙 (4) 王陽明の転換—陽明学の誕生と変遷 (5) グローバル化時代の資本主義の精神 (1) 資本主義の機制と変遷 (2) グローバル化時代の資本主義の精神 (2) 人本主義と資本主義の精神 (3) ウェーバーの予言とコジエックの「世界の日本化」 (4) 日本の近代資本主義—流沢一から福澤諭吉まで (5) グローバル市民社会への貢献の鍵—弱い規範としての「禮」 (6) 質疑応答 (7) 現代中国哲学と西洋哲学 (1) 陽明学左派の思想 (2) 清初考証学・戴震の思想 (3) 18世紀西欧の道徳思想 (4) 現代中国哲学と西洋哲学 (4) 明代から改革者へ (5) 吉田松陰の思想 (上) 松陰像の変遷 (1) 国家命から改革者へ (2) 吉田松陰の思想 (上) 松陰像の変遷 (2) 国士・武者・ヒューマニズム (3) 吉田松陰の思想 (上) 松陰像の変遷 (3) 陽明学者・教育家・史論家 (4) 松陰像の変遷 (4) 宗教性とナショナリズム (5) 松陰像の変遷 (5) 思想の強度 (6) 松陰の思想の中核 (1) 「講孟余話」の挑戦 (7) 松陰の思想の中核 (2) 国と天皇 (8) 革命観と性善説 (9) 同と独の調符 (10) 現在進行形の思想 (11) 中国の夢—中華から語る「普通」 (1) その思想的背景 (2) 方法としての中国 (3) 日本の経験の共有 (4) 科学の普遍性とは「樹い」 (5) 現在進行形の思想 (6) 中国の夢—中華から語る「普通」 (1) 科学、民主主義、資本主義 (2) 中国発「普通主義」の問題 (3) 伝統的「王道」論の再考 (4) 民主主義をどう樹いにかけるか (5) 科学の普遍性は「樹い」 (6) 普遍化とはトランスの経験だ (7) 質疑応答

中国古典思想

全50話



田口 佳史

老荘思想研究者
イメージプラン代表取締役社長

- 中国古典思想に学ぶ (1) 時代が求めた思想
中国古典思想に学ぶ (2) 「人間の救済は人間のみ可能」という基本理念
中国古典思想に学ぶ (3) 老荘思想との出会いと学ぶことの醍醐味
東洋思想を考える (1) 東洋と西洋の知の融合を21世紀の指針に
東洋思想を考える (2) 日本の地理的特性と知的遺産
東洋思想の主題～見えないものを見る (1) 暗いところが見える「玄人」
東洋思想の主題～見えないものを見る (2) 分析主義と名人の包括的直観力(2) 老荘思想
東洋思想の主題～見えないものを見る (3) 内閣の文法
「陰陽論」は仕事の役に立つ！
「徳」から生まれる「感謝の人間関係」
「大学」に学ぶ江戸の人間教育 (1) 「徳」という概念
「大学」に学ぶ江戸の人間教育 (2) 全ては「徳」に始まる
「大学」に学ぶ江戸の人間教育 (3) 組織論としての「大学」と「修身」
「大学」に学ぶ江戸の人間教育 (4) 人格を磨くための「慎独」
「大学」に学ぶ江戸の人間教育 (5) 規範形成教育を取り戻すために
江戸と現在の教育比較 (1) 学ぶが教える教育
江戸と現在の教育比較 (2) 人間の基本を教える
「素読」の効果
「小学」の脱くところ
「言志四録」～佐藤一斎の警告～
「理財論」～山田方谷の人間哲学～
「孟子章句」～孟子からの最後の指導～
「水雲問答」～林述斎の教養～
儒家思想におけるリーダーシップ (1) その理念と四階構造
儒家思想におけるリーダーシップ (2) 放動欒明・文思安
儒家思想におけるリーダーシップ (3) 特徴と発達の原点
儒家思想におけるリーダーシップ (4) 萬の問題解決能力
西郷南洲のリーダーシップ (1) 薩長同盟と江戸無血開城
西郷南洲のリーダーシップ (2) 「西郷南洲翁遺訓」を読む
西郷南洲のリーダーシップ (3) 政治の心得
西郷南洲のリーダーシップ (4) 「始末に因る」人になれ
重職心得箇条 (1) 時代に調われ、時代に応えた佐藤一斎
重職心得箇条 (2) 途と覚悟で道を究める
重職心得箇条 (3) 覚悟と対応力
重職心得箇条 (4) 重みの要
重職心得箇条 (5) 大臣の要
重職心得箇条 (6) 部下を使う要点
重職心得箇条 (7) 守るべきもの、変えるべきもの
重職心得箇条 (8) リーダーの条件は「機」を読む想像力
重職心得箇条 (9) 平日の心得がリーダーをつくる
重職心得箇条 (10) 職責と職権の関係を心得よ
重職心得箇条 (11) 日々の送り方がリーダーをつくる
重職心得箇条 (12) 「虚懐転転」と「抑揚之勢」
重職心得箇条 (13) 「表政」と「裏政」
重職心得箇条 (14) 社風と秘密
重職心得箇条 (15) 現代の経営管理にも通じる教え
「貞観要要」を読む (1) 長期政権を目指す者の必読書
「貞観要要」を読む (2) 著作に登場する人物たち New!
「貞観要要」を読む (3) 長期政権の運営を邪魔する要因 New!
「貞観要要」を読む (4) 名君の条件 New!

仏教/聖徳太子

全8話



大野 玄妙

法隆寺
管長

- 法隆寺は聖徳太子と共にあり (1) 無条件の「和」の精神
法隆寺は聖徳太子と共にあり (2) 神と仏の二重三脚体制
法隆寺は聖徳太子と共にあり (3) 「みんな一緒に」の精神
法隆寺は聖徳太子と共にあり (4) 仏国土はどこにあるか
法隆寺は聖徳太子と共にあり (5) 法隆寺最大のミステリー
法隆寺は聖徳太子と共にあり (6) 「和」を広げる法隆寺 New!
法隆寺は聖徳太子と共にあり (7) 日本古代史の謎に迫る New!
法隆寺は聖徳太子と共にあり (8) 古代史の眺め方 New!

仏教/奈良の大仏

全1話



北河原 公敬 New!

東大寺
長老

- 東大寺建立に込められた思い (1) 千二百年有余の伝統 New!

京都学派

全5話



高坂 節三

日本漢字能力検定協会
代表理事会長

- 過去から未来へ、京都学派の役割―父・高坂正顕と兄・高坂正貞の眼を通して (1) 京都学派とは
過去から未来へ、京都学派の役割―父・高坂正顕と兄・高坂正貞の眼を通して (2) 高坂正顕の思想と西田幾多郎の「永遠の今」
過去から未来へ、京都学派の役割―父・高坂正顕と兄・高坂正貞

- の眼を通して (3) ランクを考えと西田幾多郎の立場
過去から未来へ、京都学派の役割―父・高坂正顕と兄・高坂正貞の眼を通して (4) 父・高坂正顕と兄・高坂正貞の眼
過去から未来へ、京都学派の役割―父・高坂正顕と兄・高坂正貞の眼を通して (5) 過去から未来へ

感性論哲学

全9話



行徳 哲男

日本BE研究所
所長

- 野柳の哲学 (1) 自らの主体で生き抜いたケルケゴール
野柳の哲学 (2) メリカと日本で羽ばたいた野柳たち
野柳の哲学 (3) 日本に今「野生の朝」が必要な理由
松岡修造はなぜあれほど熱いのか～心の師が語る
齋藤去 (1) 北条時宗と無学祖元
齋藤去 (2) 若者たちに対する警告
平和ボケ日本人への誓言「常任戦場」
行徳哲男が語る時代の変遷編者・吉田松陰
リーダーのための感性哲学「煩惱を生きる」

歴史・民族

中東史/歴史全般

全209話



山内 昌之

歴史学者
東京大学名誉教授

宗教と民族の歴史に学ぶ<アメリカ編>

- 「イスラムとアメリカ」再考 (1) アメリカのイスラムとは
「イスラムとアメリカ」再考 (2) アメリカM&Xと多文化主義
「イスラムとアメリカ」再考 (3) 米大陸発見と奴隷貿易
「イスラムとアメリカ」再考 (4) ムスリム移民、4つの波
「イスラムとアメリカ」再考 (5) モハメド・アリの死
「イスラムとアメリカ」再考 (6) トラビズムの衝撃
「イスラムとアメリカ」再考 (7) 黒人のイスラム運動
「イスラムとアメリカ」再考 (8) マルコムX運動

宗教と民族の歴史に学ぶ<欧州編>

- ウクライナの宗教と民族の歴史 (1) 四大宗派併存の歴史と背景
ウクライナの宗教と民族の歴史 (2) キリシヤ・カトリック信仰と民族文化
帝国に共通する性格とは何か～民族紛争の火種を知る～

宗教と民族の歴史に学ぶ<中東編>

- 中東を理解するために
イスラム教におけるシーア派とスンニ派の違い
「中東国際関係史研究」を読み解く (1) 本書の目指した二つの目的
「中東国際関係史研究」を読み解く (2) カラベルの東方政策
「中東国際関係史研究」を読み解く (3) 知られざるカラベルの生涯と功績
トルコ現地調査レポート (1) 東アナトリアの山間部を訪ねて
トルコ現地調査レポート (2) 高地から黒海、そしてクルジアへの旅
トルコ現地調査レポート (3) 写真解説
オスマン帝国とは何か～その繁栄と共生の秘密～
ムハンマドを知る (1) その役割と人物像
ムハンマドを知る (2) 「罪と罰」の裁定者
ムハンマドを知る (3) 人間の卑小性と気取った偉大さ
ムハンマドを知る (4) 宗教的厳密性と政治的柔軟性
ムハンマドを知る (5) 義者の伝承と可憐なリーダー
ムハンマドを知る (6) 法の前での平等とバランス感覚

時事問題の背景に学ぶ<イスラム国・テロ>

- トルコ大統領選とISIL
三つの戦争と「イスラム国」―中東情勢における悲劇の本質
「イスラム国」米イラク空爆～六つの背景とシリア情勢への対応～ (前編)
「イスラム国」米イラク空爆～六つの背景とシリア情勢への対応～ (後編)
イスラム国とクルド独立 (1) イスラム国と世界のジレンマ
イスラム国とクルド独立 (2) イスラム国 v sクルド～中東の新たな対決構図
イスラム国とクルド独立 (3) イスラム国がもたらしたクルド独立国家への道
「イスラム国 (ISIL)」日本人殺害事件に際して～私たちが得た教訓とすべき態度
「イスラム国 (ISIL)」日本人殺害事件に際して～「イスラム国」報道への危機
「イスラム国 (ISIL)」日本人殺害事件に際して～転換期に出現した「異次元の危機」
「イスラム国 (ISIL)」日本人殺害事件に際して～日本は中東人道支援を止めるべきなのか
「イスラム国 (ISIL)」日本人殺害事件に際して～ハワーリジュ派とイスラム国
「イスラム国」は、もはや対岸の火事ではない
「イスラム国」の日本人殺害事件の教訓と補討コスト
「イスラム国」は、組織が「破壊」か
日本は「イスラム国」に対して何をすべきなのか
イスラム過激派を生み出すイスラム教の本質とは？
中東と国際社会の目指すべき方向

- 「イスラム国」と中東の変動 (1) 旧体制に反旗を翻す三大勢力
「イスラム国」と中東の変動 (2) 「冷戦」復活という見方
「イスラム国」と中東の変動 (3) 「イスラム」の未来地帯
チュニジアにおけるテロの狙い
パリ同時多発テロ (1) 新しい世界戦争の始まり
パリ同時多発テロ (2) これはISだけの問題ではない
パリ同時多発テロ (3) 欧米諸国が直面する問題
「テロ」とは何か (1) 欧州人テロリストの美態
「テロ」とは何か (2) 「自由」はテロの理由をなしたのか
「テロ」とは何か (3) 長期の理想より目の前の危機対策
「テロ」とは何か (4) 民主主義とテロ抑止力

時事問題の背景に学ぶ<シリア問題>

- シリア難民問題 (1) クルディ少年の悲劇
シリア難民問題 (2) アラブ春国に対する誤解
シリア難民問題 (3) 解決に向けて～断崖絶壁のシリア
混沌のシリア情勢を読む (1) ロシアのシリア空爆
混沌のシリア情勢を読む (2) シリアの内閣戦争
混沌のシリア情勢を読む (3) シリアの内閣の特異性
混沌のシリア情勢を読む (4) 内閣の文法
中東の火種・シリア (1) なぜシリアの春は挫折したのか
中東の火種・シリア (2) アサド政権への批判
中東の火種・シリア (3) 世界革命史から見たアサド
シリア・アレッポ情勢と三つの「限りなく暗い」神話 New!

時事問題の背景に学ぶ<中東情勢>

- 中東・湾岸情勢 (1) GCC3カ国のカタル大使召還事件を読み解く
中東・湾岸情勢 (2) 新しい戦略的互恵と提携の時代へ
ガザ地区におけるイスラエルとパレスチナの対立 (1) 三つの次元の激化
ガザ地区におけるイスラエルとパレスチナの対立 (2) イスラエルの軍事作戦とハマスの政治的戦略
ガザの悲劇、その反省の理由―新しい三つの変化
中東のパラダイムシフト―「敵の敵は友」か？
中東のパラダイムシフト―アラブ国家解体と新勢力台頭
中東のパラダイムシフト―米国・イラン・イスラエル
独裁国家イメンの現状 (1) 独裁国家の三つの特徴
独裁国家イメンの現状 (2) サウジとイランの代理戦争
中東協力現地会議 (1) シリア戦争の行方と分割の危険性
中東協力現地会議 (2) クルドの民族問題と独立への可能性
中東協力現地会議 (3) トルコの民主主義と外交 New!

時事問題の背景に学ぶ<国際関係>

- イラン核協議最終合意の意味 (1) 肯定的評価と否定的評価
イラン核協議最終合意の意味 (2) 中東の動的評価
ポストモダン型戦争と第二次冷戦 (1) 緊張の構造
ポストモダン型戦争と第二次冷戦 (2) 世界規模の複合危機
ポストモダン型戦争と第二次冷戦 (3) フーチンの恩因
モスクワ国際安全保障会議 (1) 伊勢志摩サミットの裏側で
モスクワ国際安全保障会議 (2) ロシアとシリア
モスクワ国際安全保障会議 (3) 存在感を増す中国
モスクワ国際安全保障会議 (4) イラン・シリアの主張
次期アメリカ大統領に望む中東政策「5つの提言」

時事問題の背景に学ぶ<欧州・ロシア>

- ウクライナ問題を読む～米国の動きを注視する中国と日本の外交姿勢への提言～
ロシアの中東政策 (前編) 欧米が持たない「てこ」
ロシアの中東政策 (後編) 鍵を握るトルコとイラン
書物で学ぶギリシャ危機 (1) 自ら招いたギリシャの悲劇
書物で学ぶギリシャ危機 (2) ユーロに見えた影の側面
書物で学ぶギリシャ危機 (3) リーナスと有馬龍夫
新しい東方問題 (1) ギリシャのつとと借金の代償
新しい東方問題 (2) イランの強みと「イラン」の野望
新しい東方問題 (3) 複雑さを増す戦後賠償や金融問題
新しいユーラシア問題 (1) 地政学で読む3つのワード
新しいユーラシア問題 (2) 軍事演習とロシア外交

時事問題の背景に学ぶ<トルコ・イラン・サウジアラビア>

- 中東の覇権を握ろうと目論むイランの野望
サウジアラビアがイメンを空爆した背景
イランは中東の新しい地政学をリードできるのか？
サウジアラビアがイメンを空爆した背景
トルコとイランの関係 (1) イラン革命から21世紀へ
トルコとイランの関係 (2) 緊張関係と今後のシリア
トルコ民主主義の行方 (1) 複雑な中東三つどもえの戦い
トルコ民主主義の行方 (2) 問題ゼロ外交の破壊
トルコ民主主義の行方 (3) 出直し選挙へ
トルコ軍ロシア機撃墜問題 (1) 騒る緊張、関係悪化の背景
トルコ軍ロシア機撃墜問題 (2) 北シリアをめぐる民族問題
トルコ軍ロシア機撃墜問題 (3) 戦略的利害はあったのか
トルコ軍ロシア機撃墜問題 (4) ロシア強硬姿勢の理由
中東最新事情を読む (1) サウジ・イラン断交
中東最新事情を読む (2) イランの国際社会復帰
中東最新事情を読む (3) イランとサウジ、どちらが上手？
中東最新事情を読む (4) レンディア国家サウジの姿容
中東最新事情を読む (5) イラン国内の二つの流れ
中東最新事情を読む (6) 伝統と革命が併存するイラン
中東最新事情を読む (7) 危機の元凶、宗派対立
イランのダブル選挙 (1) 二項対立の典で戦われたもの
イランのダブル選挙 (2) 対外戦略と路線に呼応する民主化
イランのダブル選挙 (3) 管理された民主主義
イランのダブル選挙 (4) 国民が発信したシグナル
トルコの一番長い夜とクーデター (1) 武装暴動失敗の背景
トルコの一番長い夜とクーデター (2) 最悪の文民政府
トルコの一番長い夜とクーデター (3) メディアの恩恵
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (1) リヤド会議の意味
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (2) なぜ変化は起きたか
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (3) 二つの深刻な問題
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (4) イスラエルとサウジ
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (5) ビジョン2030
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (6) サウジとヨルダン
アメリカとサウジ同盟関係の終焉 (7) 敵の敵は敵かつ味方

第一次世界大戦から100年にあたって

- 第一次世界大戦から100年にあたって (1) 20世紀の病根と21世紀の進路
- 第一次世界大戦から100年にあたって (2) 帝国崩壊の余波と中東の役割
- 第一次世界大戦から100年にあたって (3) 第一次世界大戦における日本
- 第一次世界大戦から100年にあたって (4) 大戦期と現代日本を比較して学ぶべきこと
- 第一次世界大戦100年と日本 (1) ポスト冷戦の終焉
- 第一次世界大戦100年と日本 (2) 石油と安全保障
- 第一次世界大戦100年と日本 (3) 生かされない教訓
- 第一次世界大戦100年と日本 (4) パワルの類似性
- 第一次世界大戦100年と日本 (5) 歴史は繰り返す

リーダーシップに学ぶ

- リーダーと教育者
- 稲妻家光のリーダーシップ (1) 家運の礎を握る3代目
- 稲妻家光のリーダーシップ (2) 3代目の宿と宿命
- 稲妻家光のリーダーシップ (3) ヨリイリの排除
- 稲妻家光のリーダーシップ (4) 「老」の形成
- 知足の政治家・保科正之に学ぶ (1) 明暦の大火、臨陣の政治
- 知足の政治家・保科正之に学ぶ (2) 戦後期の名能取り役

幕末維新に学ぶ

- 技術と民生から見た明治維新 (1) 逸話譚助
- 技術と民生から見た明治維新 (2) 山尾庸三
- 技術と民生から見た明治維新 (3) 井上勝
- 技術と民生から見た明治維新 (4) 北垣国道
- 技術と民生から見た明治維新 (5) 田辺朝郎
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (1) 世界史の中の幕末
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (2) 村田清風と長州藩の国防意識
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (3) “実質”百万石、成功の要因
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (4) 幕府とラジカルな長州藩
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (5) 叔父・玉木文之進の教育
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (6) 松陰の思想「知行合一」
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (7) 松陰の教育と幕末の志士たち
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (8) 松陰処刑の影響
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (9) 長州藩の反幕意識
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (10) 攘夷のリアリズムと実行
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (11) 薩長の対立
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (12) 禁門の変
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (13) 高杉晋作という人物
- 幕末長州～松下村塾と革命の志士たち (14) 薩長同盟

歴史認識問題を俯瞰する

- 「ふりかえれば未来」を歴史解釈の基本に
- 戦後70年の歴史認識 (1) 中国と韓国との関係
- 戦後70年の歴史認識 (2) 平和国家としての歩み
- 戦後70年談話 (1) 21世紀構想と歴史の役割
- 戦後70年談話 (2) 歴史家としての使命
- 戦後70年談話 (3) 韓国の反応と日本人
- 戦後70年談話 (4) 歴史解釈の何が生む各国の対立
- 戦後70年談話 (5) 歴史認識とインテグリティ
- 戦後70年談話 (6) 日韓関係と「カタストロフィー」
- 戦後70年談話 (7) 二つの追悼典典と歴史認識問題
- 戦後70年談話 (8) ハンドン会議と歴史認識のあり方
- 日本の戦後70年とフイツゼッカーの演説
- 戦後70年談話所感 (1) 歴史を直視するために
- 戦後70年談話所感 (2) 歴史的文脈で語る重要性
- 戦後70年談話所感 (3) 周辺国との関係
- 戦後70年談話所感 (4) おわびと歴史修正主義への懸念

学ぶことの意味

- 読書とは何か (1) 私たちは本から何を得るべきなのか
- 読書とは何か (2) 実社会における読書の意味
- 読書とは何か (3) 人生修行の素材としての読書
- 読書とは何か (4) 現代の日本語で気軽に「古典」を読む
- 読書とは何か (5) 和漢洋の知を複合化し現代に活かす
- 読書とは何か (6) 座右の書から得る人生の喜び
- 『歴史とは何か』を語る (1) 歴史学とは何か
- 『歴史とは何か』を語る (2) 歴史と人間、歴史と叙述、歴史と現実
- 『歴史とは何か』を語る (3) 隠された秘密のメッセージを読み解く
- 『歴史とは何か』を語る (4) 歴史学者は平凡な職業か
- 『歴史とは何か』を語る (5) ある断面から全体を語るのか
- 『歴史とは何か』を語る (6) 歴史家は何を追求するのか
- 『歴史とは何か』を語る (7) 記録から歴史へ～古今東西の歴史家の言説～
- 『歴史とは何か』を語る (8) 智者と愚者の混淆
- 『歴史とは何か』を語る (9) 『春秋』と『史記』の応酬
- 『歴史とは何か』を語る (10) 天道、是か非か
- 『歴史とは何か』を語る (11) 司馬遷の歴史叙述と世界観
- 『歴史とは何か』を語る (12) 李広と李陵と司馬遷の悲劇

歴史書に学ぶ<日本編>

- 吾妻鏡 (1) 魅力と謎に満ちた書物
- 吾妻鏡 (2) その執筆の意図を探る
- 吾妻鏡 (3) 徳川家康への影響と効果
- 吾妻鏡 (4) 事実と虚構のはざまから
- 神皇正統記 (1) 日本国とは何か
- 神皇正統記 (2) 正直・慈悲・決断
- 神皇正統記 (3) 政治の成功に必要なこと
- 昭和天皇実録～公開の歴史的意義

特別談話

- 追悼・前財務次官 香川俊介氏
- 天皇のおことは (1) 天皇の「悪い」と「終焉」
- 天皇のおことは (2) 国民への理解を求める
- 天皇のおことは (3) 私たち国民が考えるべき時
- 「天皇陛下のご謙位と公務の負担軽減」について考える New!

日本史 (大正～現代)

全114話



渡部 昇一

上智大学名誉教授

本日のことがわかる昭和史

1. 誰が東アジアに戦乱を呼び込んだのか

- (1) 「客観的かつ科学的な歴史」という偽り
- (2) あの当時、相手が何をしたのか
- (3) 張作霖はソ連にとっての大きな邪魔者
- (4) イギリスはわかってた
- (5) 田中隆吉 vs 『紫雲城の黄昏』
- (6) 「ノモンハン事件は日本の大敗北」は誤り
- (7) 司馬遼太郎がノモンハンを書かなかった理由
- (8) 日本軍は負け方を知らなかった
- (9) エリート軍人たちが「ガッツ」
- (10) なぜ大ノウチは直電点呼を欠いたか
- (11) 上層部は身内をかね、責任は現場に
- (12) ガダルカナルに大和は出撃しなかった
- (13) 土師が仕掛けたシナ事変
- (14) 土師退治と高貴
- (15) コミンランが東アジアに戦乱を呼び込んだ
- (16) 「講談としての歴史」の重要性

2. 軍縮ブームとエネルギー革命の時代「明治の精神」の死

- (1) 「明治精神」の死
- (2) シビリアン・コントロールを知っていた木越安綱
- (3) 「みんなみんなささきかつたよ」
- (4) ドイツでさえ軍部大臣現役武官制ではなかった
- (5) 些細なことが大きな出来事に
- (6) 連合軍から感謝された日本艦隊
- (7) シナの宣伝で敗れた「対支二十一カ条」
- (8) シベリア出兵と尼港事件の惨劇
- (9) 「軍人には娘を嫁がすな」
- (10) 日英同盟崩壊という致命的な失敗
- (11) 野田英二とアジア主義
- (12) 日本はアメリカにしてやられている
- (13) なぜ「九国条約」を見直さなかったか
- (14) いわゆる「不戦条約」の偽善
- (15) 当時の指導者への不認識は何に起因するのか
- (16) 悲劇の時代を率いた「教育勅語を知らない世代」
- (17) 四回師団廃止と軍の近代化を進めた日本
- (18) 宇垣軍縮を理解できなかった将軍たち
- (19) 「石炭の魂」で日露戦争に勝ったが
- (20) 資源にアメリカの石油会社を招致すればよかった
- (21) 資源問題の経緯は、あまりに愚

3. 社稷を念ふ心なし一五・一五事件への道

- (1) 若者に歌い継がれた「青年日本の歌」
- (2) 「軍人さんに占領されているみたい」の真相
- (3) 「右翼の社会主義者」の強烈な主張
- (4) 特高の取り締まり対象は左翼より右翼
- (5) 保護貿易と金解禁がもたらした昭和恐慌
- (6) 天才・高橋は清の貢献も時すでに遅し
- (7) 喜んで売られていった娘さんもいた
- (8) 「統帥権干犯問題」を煽ったマスコミ
- (9) ジョン・ダワーの「日本人発狂説」
- (10) 派閥意識が少なかった「薩の海軍」
- (11) ロンドン軍縮会議をめぐる大問題
- (12) 「条約派」と「艦隊派」の対立という悲劇
- (13) 陸軍大将・上原勇作という人物
- (14) 未遂に終わったクーデター・三月事件の衝撃
- (15) 半年後に再び計画された十月事件
- (16) 首謀者たちに下された裁きわめて甘い処分
- (17) 海軍の青年将校が主導した五・一五事件
- (18) そして滅亡願書が山積みになった

4. 二・二六事件と国民大衆雑誌『キング』

- (1) 田中・宇垣派と上原派の対立の行方
- (2) 荒木・真崎時代の到来
- (3) 「反皇道派」の巻き返し
- (4) 叛乱の前触れ——十一月事件の波紋
- (5) 永田鉄山斬殺事件
- (6) 叛乱勃発と昭和天皇の激怒
- (7) 息を吹き返した「軍部大臣現役武官制」
- (8) 軍隊は民主主義のルールには臆病である
- (9) 恐怖心、パイプ断絶、日本人軽侮
- (10) なぜ三国同盟が結ばれてしまったか
- (11) 事件の背景にある国際的な軍拡競争
- (12) 国家社会主義に幻惑された日本人
- (13) 『キング』が伝える昭和十一年の日本
- (14) 日本人は本来「自由」を愛する国民だったのに

5. 満州事変と石原莞爾の蹠跡

- (1) なぜ満州が重要だったのか
- (2) アメリカとソ連が火をつけた「民族自決」
- (3) 幣原外交の致命的失敗
- (4) 激化する革命外交と排日運動
- (5) 満州事変への批判を招いた幣原外相の罪
- (6) どう考えても大義名分が立つ行為だった
- (7) 崇高だった五族協和の理念
- (8) なぜ満洲国のみで自重できなかったか
- (9) 参謀本部が止められなかったシナ事変
- (10) 南京大虐殺という虚説を封じる反論
- (11) 虐殺後の南京に「汪兆銘政府」ができるか？
- (12) 反省すべきは説得できなかった力量不足

6. 人種差別を打破せんと日本人は奮い立った

- (1) 「卑怯な黄色い人間に負けてたまるか」
- (2) 名実ともに人種差別国家だったアメリカ
- (3) 旗本一の「海し派」演説
- (4) 人種平等案否決が大東亜戦争の遠因
- (5) 日本型資本主義の精神と訳読み
- (6) ハリマン提案を讀んだ「深みゆかさ」
- (7) 西洋人たちに見下されてたまるか
- (8) 早熱度がはげるとき
- (9) なぜ「ガッツ」のない人間ができるのか
- (10) 華々しく勇敢だった若者に去来したいとは
- (11) なぜ対英米開戦に賛成さされたのか
- (12) 大東亜会議を再評価せよ
- (13) アジア独立こそ日本の生きる道だった
- (14) 最後まで変わらなかった誇り

7. 歴史を愛する日本人の崇高な使命

- (1) 真珠湾攻撃を「騙し討ち」にした大失態
- (2) 宣戦布告遅延の責任はどこにあるのか
- (3) 「軍備制度の罪」を猛省せよ
- (4) 世界に恥ずくべき虚構を広めた朝日新聞
- (5) なぜシナや韓国に熱をよせたのか
- (6) 「戦艦利得者」が強調した「暗黒朝前」
- (7) 「擲げし人のたに情しまる」
- (8) マッカーサーは東條証言をそのまま認めた
- (9) なぜ重要な証言が知られなかったのか
- (10) 太平洋戦争における最大のリビジョニストはマッカーサー
- (11) 身をもって体験した「赤化の危険」
- (12) 国連で喝されたA級戦犯
- (13) 「サンフランシスコ平和条約第十一条」問題
- (14) 東京裁判史料が崩れるとき
- (15) 日本の情報と世界に発信する重大性
- (16) 欧米の言葉・文脈・文化の中で反駁せよ
- (17) 英訳「細書」がシナ事変を伝えてくれる
- (18) 歴史を取り戻そう

古代ローマ史

全2話



本村 凌二

東京大学名誉教授

- 世界史の中のローマ史 (1) 人類の文明史とローマ史 New!
- 世界史の中のローマ史 (2) ローマ人は何が優れていたのか New!

日本思想史/皇統学

全2話



松浦 光修

皇学館大学
文学部国史学科教授

- ほんものの坂本龍馬 (1) 現代の歪んだ維新志士像 New!
- ほんものの坂本龍馬 (2) 龍馬の「洗濯」の激しさ New!

● 10MTVをよりお楽しみいただくためのお得で耳寄りな情報をお届けします。

有料登録会員様向けプレゼント企画第三弾 事前告知！ 松浦光修氏著『龍馬の「八策」』プレゼントキャンペーン！



龍馬の「八策」
維新の核心を解き明かす
松浦光修著、PHP研究所
2016年12月16日発行予定

日頃のご愛顧への感謝を込めて！ 有料登録会員様向けプレゼントキャンペーン第三弾の事前告知です。

11月に実施した第二弾・小宮山宏氏の新著『新ビジョン2050 地球温暖化、少子高齢化は克服できる』（日経BP社）のプレゼントに引き続き、12月は、松浦光修氏の著『龍馬の「八策」 維新の核心を解き明かす』（PHP研究所）をプレゼント！

本書は、本メディアで現在配信中の松浦氏のシリーズ講義「ほんものの坂本龍馬」および今後配信予定の「五箇条の御誓文」の内容が元になっており、PHP研究所との書籍連動企画になっていますので、活字と映像の両方で、より理解を深めていただきたいと思います。

なお、キャンペーンの詳細は、本書発刊時期に合わせ、12月上旬に本メディアで告知しますので、ぜひこまめにチェックしてみてください！

今後も第四弾・第五弾とプレゼントキャンペーンを鋭意企画していきますので、ご期待ください！

撮影収録秘話やオープニング動画先行配信等々 ここだけの情報が満載！「Facebookファンページ」

Facebookの「10MTVオピニオン」ファンページでは、ほぼ毎日更新のうえ、本メディアに関連する最新情報をお届けしています。

レクチャーおよび講演の新規撮影収録の様態を紹介したり、新着レクチャーのオープニング映像も配信に合わせて公開したりしています。

また、今後の配信レクチャーの予定はもちろんのこと、配信中のレクチャーの内容や見どころをお伝えする「10MTVの歩き方」、各レクチャーの中で使われている旬なキーワードや専門用語についてさらに理解を深めるための「10MTV glossary」、そして各種キャンペーンのご案内や新たに追加となる機能等のご紹介など、「10MTVオピニオン」をよりお楽しみいただくための情報が満載です。

このファンページのことを初めて知ったという方は、この機会にぜひ下記URLからアクセスいただき、「いいね！」をよろしくお願いたします！



「10MTVオピニオン」

FacebookファンページURLはこちら↓

<https://www.facebook.com/10mtvopinion/>

スキマ時間に 日本と世界、 人と社会の今を知る！

「10MTVオピニオン」は、各界の有識者たちによる撮り下ろし動画メディアです。国内外の情勢から、普遍的なテーマまで、さまざまな動画がご覧いただけます。



配信動画は1話約10分

配信動画1話あたりの時間は、10分～15分。移動中や仕事の合間の空き時間に視聴できる時間です。テレビでは短すぎて語れない、かといって長すぎないサイズのレクチャーをご覧ください。

動画本数1400本以上 出演講師80名以上

日本と世界、人と社会の今を知るために聞いておきたい政治、経済、国際問題、医療、思想、歴史など、幅広い分野の動画を配信中。各界の第一線で活躍する講師陣の生の声をお届けします。

マルチデバイスで いつでもどこでも視聴可能

サイトはパソコン、スマートフォン、タブレット、どのデバイスでも時間や場所を選ばずにお楽しみいただけます。動画の内容はすべてテキスト化。PCから、PDFデータをダウンロードできるので、印刷も可能です。

ご利用料金

1カ月： **1,080円** (税込)

詳細・お申込みは
こちら

<http://10mtv.jp/>

にアクセス！または、

10MTV で 検索